

# 都

三味線対談・津軽三味線の底なしの魅力  
/ジェリー・ミックゴールドリックVS片山博  
フィヨルドGros Morne国立公園を訪ねて/大野隆史  
ビクトリアの幽霊スポット・志摩夕美  
また松井"松ちゃんとカズオ君"/杉本花粉  
私の生体エネルギー"オーラ"体験/後藤順子



カナダのライフスタイル紙  
第45号2004年夏

1部4ドル

A Musical Instrument Called a "Speaker".



WOOD CONE



EX-A1  
DVD Compact Component System



- Power Output: 30W x 2,4 ohms, at 1kHz, with 10% THD
- World's First Wood Cone Speaker (Birch Wood Diaphragm)
- Real Cherrywood Speaker Enclosure ■ Hybrid Feedback Digital Amplifier
- Aluminium "Twin Arc Panel" Construction ■ Playable Formats: DVD-Audio/Video, DVD-RW, DVD-R, CD, SVCD/VCD, CD-R/RW, MP3/JPEG (CD-R/RW)
- Dolby Digital/DTS Decoder (2ch) ■ 192kHz/24-bit Audio D/A Converter
- Screw-type Speaker Terminals

JVC

The Perfect Experience

CREATE IT — RECORD IT — VIEW IT — ENJOY IT —

www.jvc.ca

# 木下

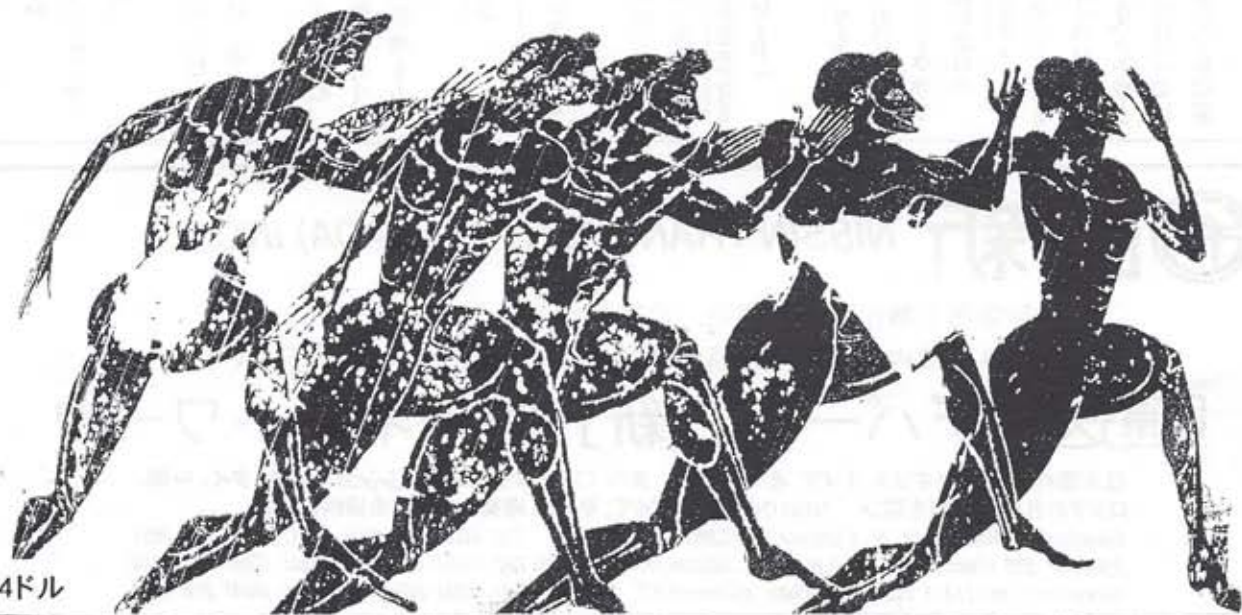
2004年夏 第45号

表紙 野尻佳子

デザイン 日塔富夫・野尻佳子

カレンダー	2
三味線対談「津軽三味線の底なしの魅力」 片山博	4
ジェリー・ミックゴールドリック	
見たり聴いたり試したり	6
今、美術評論家? 絵画紹介の連載をしています 小尾将彦	8
キャロル一家の日本ツアー 片山睦美	10
イラスト映画評「Kill Billと Kitchen Stories」 日塔富夫	11
「カナダ往還」家訓とりんご 足立誠之	12
ビクトリアの幽霊スポット 志摩夕美	14
「ピーヒャラ笛吹き音楽紀行」東洋の真珠ペナン 西川浩平	16
コルシカ島、断崖に建つ家を訪ねて 松宮未永子	18
ニューファウンドランドのフィヨルドGros Morne 大野隆史	20
トロントキリギリス生活・スーパーマーケット編 多田早苗	22
「不老長寿の葉を探して」生体エネルギー”オーラ” 後藤順子	24
「東京裏通信」はとバスに乗ってみた! 尼子三矢子	26
ロッソーレイクカレッジで1年間日本文化を教える 高橋直之	28
日本のテレビを見なくなって感じたこと スズキユウ	30
言わせてヨ!また松井、松ちゃんとカズオ君 杉本花粉	32
温泉近況報告・今シーニック温泉再開に着手 マイク佐藤	33
表紙のことば アテネ・オリンピック 野尻佳子	35
ネコの散歩特訓 森貞一弘	34
「マントバ通信」90歳の安部美丸さん 五島宏治	36
「本の紹介」イラク 戦争と占領 小野冬生	38
編集室から	40

1 1部4ドル



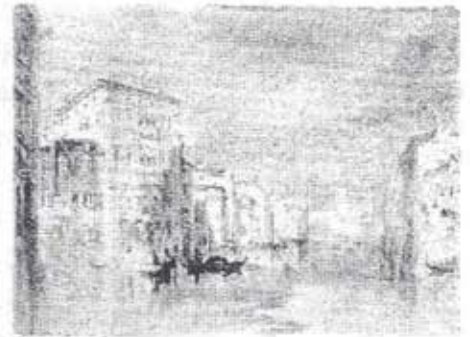
## Events Calendar



### トロント

#### ■展示

▽「ターナー、ウイスラー、モネ」  
 九月十二日まで、アートギャラリー・オブ・オンタリオ  
 十九世紀の半ばから後半まで、近代絵画への方向を築いた英国、アメリカ、フランスの三人の巨匠の油絵と水彩、パステル画等百二十点を展示。百点がターナーの作品。AGOとバリ・オルセー国立美術館、ロンドン・テート美術館の三美術館の共同企画制作展。特別入場料十八ドル、家族四十ドル、三人のベネチアの絵を比べて見ると、印象派のルーツを感じる。  
 416-979-6648 www.ago.net



ターナーの水彩画「パリス」Palazzo Balbi, Sanjovanni, Venice  
 ナショナルギャラリー・スコットランドのハンフレット the Vaughan Bequest より

Venice

#### ▽「イメージ・ファクトリー」

七月七日〜九月五日  
 テクスタイル美術館  
 アフリカ二十八カ国からの出展、土着工場製品から輸入品まで、生地プリントやイメージを通じてアフリカ各地のポピュラー文化や宗教、国際間政治を探る。  
 416-textilemuseum.ca

#### ▽「2004 Images Tell the Story」

七月十日〜九月十一日  
 ハーパーフロントセンター  
 イヌイット、インド、インドネシアの生地、織物の展示。  
 www.harbourfrontcentre.com

#### ■フェスティバル・イベント

#### ▽「ジャパニーズ・ナイト」

七月七日、スカイドーム  
 トロント・ブルージェイズVSシアトル・マリナーズの試合。  
 www.bluejays.com

#### ▽「アウトドア・アート・エキジビション」

七月九日〜十一日、市庁舎前広場  
 五百五十人のアーティストが絵、版画、アクセサリー、金属・ガラス、木の工芸品を野外展示即売する。毎年約十万人が訪れる。  
 www.torontooutdoorart.org

▽「Pati Grafi」七月十六〜十八日  
 デイステイリー・ヒストリック・ディストリクト  
 元酒醸造所がアート地区に変貌、音楽、ダンス、ファッションの催しを開催。  
 www.thedistillerydistrict.com

▽「第三七回カリバナ・パレード」  
 七月三十一日  
 カリブソ、ソッカ、レゲ、サルサの音楽、ダンス、衣装を競うカリビアンアート・フェスティバル、レークサイドルートを一・五キロにわたりパレード。  
 www.caribana.com

▽この他ダンフォースのギリシャ・コミュニティのフェスティバル(八月六日〜八日)、ブルー・アウエストのウクライナ・フェスティバル(八月二十七日〜二十九日)など夏場のカラフルな催しが続く。

## 日新 NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送／倉庫保管／トラック運送／

海外・国内引越し／事務所移転…その他何でもご相談下さい。

### 「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び、「NISSIN」による安くて、早くて、確実なサービスを提供します。

Toronto/ 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT.M9W 4Y3

Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881

Alliston/ 292 Church St. S., P.O.Box 149, Alliston, ONT L9R 1T9

Tel: (705) 434-3136 Fax: (705) 434-3140

Vancouver/ #6-11411 Placsmith Place, Richmond, B.C. V7A 4T7

Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

## モントリオール

### ■フェスティバル

#### ▽「国際ジャズフェスティバル」

六月三十日〜七月十一日  
十一日間毎日正午から夜中まで  
ダウンタウン数カ所で開催有名・無名、  
インターナショナル・ローカルのジャ  
ズ・ブレイヤーのノン・ストップ演奏  
で沸き立つ。今年の出演者はウイ  
ン・マルサリス・クインテット、チ  
ック・コリア、キース・ジャレット、ゲ  
リー・ピーコックなど。k d ランク  
もモントリオール・シンフォニーと協  
演。 [www.montrealjazz.fest.com](http://www.montrealjazz.fest.com)  
1-888-515-0515, 514-871-1881



#### ▽「ジャズ・ラフ・フェスティバル」

七月十五日〜七月二十五日  
笑いで暑気を吹き飛ばす夏の恒例  
行事の一つで、北米コメディアンの  
話術コンテストであり、同時に新人  
の登竜門。毎日午前十一時からス  
タート。この機会に会場内のジャズ  
・ラフ・ミュージウムを覗いてみては  
514-845-2322 [www.hahaha.com](http://www.hahaha.com)

#### ▽「世界フィルム・フェスティバル」

八月二六日〜九月六日  
今年第二十八回を迎えるが、元は  
と言えば業者の取引から発展した  
トロント国際映画祭に比べて、エス  
ニック、アート色が強い。  
[www.film-montreal.org](http://www.film-montreal.org)

これらの他、ラシーヌ国際ギター・  
コンペティション、モントリオール国  
際花火大会など。

#### ■「ファーストネーション・ガーデン」

三年前にオープンした植物園内、  
ファーストネーション・ガーデンは、  
軟質材の森、硬質材の森、北極圏  
の三ゾーンに分かれ、インディアン  
の薬草など興味ある植物が植えら  
れている。夏場はガイドツアーがあ  
る。 514-872-1400

## バンクーバー

#### ■「アンディ・ウオーホール展」

九月六日まで  
バンクーバー・アートギャラリー  
六〇年代、七〇年代、アメリカの  
ポップアートに君臨したアンディ・  
ウオーホールの作品百五十点。ピ  
ツバグのウオーホール美術館か  
らの出展。商業イラストレーターか  
らアーティストへのトランスフォーム  
の足跡を辿る。毛沢東、マリリン・  
モンロー、リズ・テラーのシルク・

スクリーンや八十年代のビーナスの  
誕生など、ウオーホールのすべて。  
[www.vancouverartgallery.com](http://www.vancouverartgallery.com)

#### ■イベント

#### ▽「シアター・アンダー・ザ・スカイ」

七月十四日〜八月二四日  
スタンリーパーク野外劇場で夏の  
夜の演劇を楽しむ恒例の催し。入  
場料は二十九ドル。

#### ▽「第二七回フォークミュージック・フ ェスティバル」

七月十六日〜十八日  
ジェリコビーチの恒例の夏の催し。  
▽「バンクーバー第十八回国際コメデ  
ィー・フェスティバル」  
七月二二日〜八月二日  
グランビル島を含む市内の野外ス  
テージで開催。

#### ▽「バンクーバー・フェスティバル」

八月二日〜十二日  
クラシックオーケストラからジャズ  
まで五十以上のコンサートが十四  
日間にわたり行われる。

#### ▽「The Fair at BC」

八月二一日〜九月六日  
夏の終わりを告げるPNE(パシフ  
ック・ナショナル・エグジビション)。  
九十四年続くこの行事は余興、農  
産物展示、ビッグレースなど。  
[www.pne.bc.ca](http://www.pne.bc.ca)



# 日新トラベル

NISSIN TRAVEL, a division of  
NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.



出張、家族旅行、その他何でも

## 旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3  
Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

# 三味線対談

## 津軽三味線の底なしの魅力

滞日十二年

日本の民俗音楽を

研究するカナダ青年

ジエリー・

ミックゴールドリック

片山 博(文)

(Gerry McGoldrick)



いま、ヨーク大学で音楽の勉強をしているカナダ人。彼は今、卒論に三味線についての事柄を、十二年間の日本滞在で得た体験に、その後の研究を付け加えて提出するため、ニューヨークだのオタワだのに出かけるなど、とても忙しくしている。その間にちよつと、コーヒーショップで話を聞いてみた。

津軽三味線の持つ、無限の可能性、それは演奏会ごとに異なった音をかもし出す、底なしの魅力。しかし、やつと二十歳を過ぎたばかりのスコットランド移住者を親に持つ好青年が、なぜそんなに長い間、三味線片手に、日本で経験したものは何だったのか。

親子というより、ジサマと孫といったほうが、わかりやすいような私との音楽対談。とりとめのないような自由会話の中にも、ほとぼしる情熱をこめての話の中からほんの少しばかりを紹介しよう。

場所 トロント クイーンとスパダ

イナの角にあるコーヒー店で

片山 「新潟と言えば、寒い雪深い所。更には屈辱に耐えながら、門付けをして、その日の糧を稼がねばならない盲目のボサマ。聞くも哀れな旅物語。日本のことを少しは知っていましたか。」

Mc 「何も知らずに飛び込みました。全く異なる世界。日本。その中でも異様としか言いようのない、ボサマ(男)とゴゼ(女)によつて代表される津軽三味線の持つ神秘的な魅

力に、つい引き込まれていったのだと言えるでしょう。」

片山 「今では吉田兄弟によつて代表されるジャズめいたもの、中世ヨーロッパから中国を経て、沖縄、そして日本に到達した三味線の歴史などについては、後日にゆずるとして、三味線そのものの種類をまず教えてください。」

Mc 「本来ならば、太棹によつて演奏されるものといわれた津軽三味線ですが、それは今では必ずしも必要ないこととされています。中棹は地唄や一般民謡に、細棹は小唄や



長唄に使用されています。最近では多くの洋楽器などのセクションなどが行われることなどから、アンプなどに対応できるようにするとか、ヘッドフォン使用可能なまでで作られています。」

片山 「なぜ、あの寒い新潟、そしていつ果てるとも分からない、奥深い伝統音楽の勉強にそれほど長く滞在させたものは何？」

Mc 「何の準備もせずに飛び込みました。今になって思えば、こうして空白で乗り込んだことが、三つ子の魂百までのごとわざと同じく、どん

欲に知識を吸収させてくれたのだと思います。」

「現在を知ることによってこそ、過去が理解できるのです。音楽といわず芸術はすべてそういう姿勢で臨まねばならず、ここにある共通の情熱と使命感があつてこそ、その感情が聴衆に伝わるのだと思います。」

片山 「今では新しく、吉田兄弟が数多く海外に出かけるとか、古くは三橋美智也が現代風に（我々がいた頃の日本）アレンジしたり……」

Mc 「その三橋さんのこととてつもなく面白い話があるのをこ存じですか。」

片山 「それって何ですか？」

Mc 「三橋の演奏を聴いたアメリカの黒人ジャズ・ミュージシャンが日本一の歌手だとジャズ愛好家の記者に伝えました。津軽じょんがら節として英語版で出版され、このことが日本の新聞で紹介されるや、あのブームが始まったのです。」

片山 「細棹は端唄、小唄などの伴奏に使われ、したがって芸者さんのお座敷遊びに使われます。京都に何年かおられたので、遊びの経験は？」（との問いには笑って答えず）。

「京都という所は、夏暑く冬はとつもなく寒いところだと聞いております。そして複雑怪奇といったらよいような閉鎖的なところ。特に高級料

亭などでは一見さんはお断り。よそ者には見向きもしない。そういつたところで長く住んでいたのですよね。」

Mc 「道というより路地といったほうが分かりやすいです。車が通ることができないような狭いもの。新潟に約四年、京都におよそ七年間住んだ後に、カナダに帰るため引越し荷物を出していたところへ、それまで一度もものを言わなかった近所のお年寄り（ハローと言つてきました。）（いくら日本が好きになつたとしても外人はいつまでも外人。だが日本人より日本を良く知っているとは「ワイカ」。）

思いのほか時間が経つてしまい、今度は昼食にと近くのイタリアレストラに席を替えました。

食後よく見ると、すぐ横に座つてゐる三人連れの女性の頭の上になんと小さい三味線が壁に。彼はすぐに従業員（女性）に聞きに行きました。やはりこれも、音楽は世界の言葉を実証するものと、解釈しました。……勿論、人間関係も含め

彼と一緒に弾いている人、箏曲のリンダ・カプランさんが今回の対談のミックゴールドリック氏の紹介者。先年亡くなった筑紫（ちくし）流の山口雅子さんがリンダのお師匠さん。そして津軽三味線をトロントにこ披

露してくれた笠井久悦師匠などの方々々のお付き合い等の昔の思い出をも、ほうふつと。

ジェリーがもしも、近い将来、演奏会を開くことなどがあれば、皆さんと一緒にぜひ会場にうかがいたいもの。



後記II三味線のルーツ

アラビアの Oud、ヨーロッパの Lute、十六世紀に中国、台湾、沖縄。その後日本へ。江戸時代に歌舞伎、文楽、などを介在して、それは非常に発展普及しました。古典音楽としての基礎を固め、更に津軽地方の独特のものとして、津軽三味線も今もその長い歴史を温存、発展させているわけです。ボサマとは男盲芸人、ゴゼとは女芸人であり、そのタイトル獲得には二十年の修業が条件であると聞き、さらにその奥深さを確認させられた今回の対談。いい勉強になりました。ジェリーの彼女（小林ハルさん）との対面の話はまた後日に。読者の皆さんの感想が待たれます。どうか、よろしくと二人からお願ひ。



□坂東玉三郎歌舞伎舞踊DVD

現代女形の最高峰

「鶯娘」「娘道成寺」など六本

歌舞伎の名女形、坂東玉三郎の舞踊の新しいDVD六種類をトロントで入手することが出来る。お値段は一本九二ドルで、トロントのシアター・ブックスと Marty Gross Productions Incで販売。

先日、ジャパンフアウンデーション・トロント・ホールで、その内「鶯娘」、「娘道成寺」、「鏡獅子」、「楊貴妃」の四本(他の二本は「お夏狂乱」と「藤娘」)を紹介する上映説明会が行われたが、玉三郎の円熟した芸と美しい容姿、衣装の豪華さにただただ目を見張るばかり。特に黒子が衣装の引き玉を抜いての早変わりにはカナダ人たちが嘆声を挙げた。

五代目玉三郎(屋号大和屋)は十四代目守田勘弥の養子。初舞台は一九五七年東横ホールの「寺子屋」の小太郎、七十年代はしめの市川団十郎(当時、海老蔵)との海老玉コンビ、その後の片岡仁左右衛門(当時、孝夫)との孝玉コンビで有名だった。歌舞伎だけでなく、「マクベス」「蒼き狼」「サド侯爵夫人」の現代劇にも出演、舞台演出や映画監督としても活躍している。NYメトロポリタンオペラ百周



年記念演奏会に招かれ、「鶯娘」を踊っている。ある人が「歌右衛門(六世)に似てきましたね」と言っていたが、同フアウンデーションの青柳俊明氏によると「さりとした表現の中に動きの決まりの描線の太さを感じさせ、現代の美意識、モダンズムを十分に取り込んだ上で、六世歌右衛門に迫る現代の女形の最高峰を極めつつある。」そうである。

www.martygrossfilms.com/films/ka  
buki.dance.html

□日曜日は手打ち蕎麦で  
そばカナダ、営業開始

飯塚哲弥さんのそばカナダが五月末いよいよ開店した。場所はトロント・ダウンタウンのヒロ寿司で(111 Spadina Ave) 毎日曜日、午前十一時から午後三時まで、夕方六時から八時まで営業を始めた。マントバ特産のカナダのより抜きの新蕎麦粉を使って、採りたて、挽きたて、打ちたて、茹でたての、蕎麦の香りが漂う「四たてそば」をその場で食べさせてくれるカナダ唯一の本格的蕎麦専門店である。五月二四日の開店の日にはお客が押しかけ、追加の蕎麦打ちを二回もしたそうだ。

ざるそば(十五ドル)は、一人前百五十グラムで日本のざるそばよ



**JTB**

ご旅行の御相談は  
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.

Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West  
Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ



りやや大盛り。ざるそばにナメタケ、  
 とろろを加えたパリーションや冷や  
 かけスタイルの「浅草」、冷やかけに  
 は、くみ豆腐入りやニューブランド  
 ウィック州のスムークド・ワイルド・  
 サーマン入りなどのメニューがある。  
 夕方は予約が必要。お蕎麦がトロ  
 ント名物、いやカナダ名物になる  
 日が近いかも。(416-436-7997  
 E-mail: sobacanada@rogers.com )  
 写真は蕎麦を打つ飯塚さん。



□ネコの句集

十匹の猫と暮らしている猫好き  
 の中年の夫妻、東京、新橋で酒房  
 を経営するいそむら菊・磯村光生  
 の夫妻が、飼った猫を詠んだ「句集  
 ねこ」を出版した。

薫風の寝ながら動く、猫の耳  
 夏来る 片肌脱ぎの 縞の猫

夢見しや 一ト声漏らす 昼  
 寝猫 (夏より)

春夏秋冬の四季に分かれて、右  
 ページに奥さん、左ページに主人  
 の句が配置され、季節ごとの猫の  
 生態が手に取るように詠み込まれ  
 ていて、猫好きにはこたえられない  
 句集。そういえば、イヌの句集なん  
 て聞いたことがないもんね。(俳句  
 を作る日本のイトコが送ってくれま  
 した。あひる書房刊・星雲社発売  
 千五百円+税)

□「エイプリル・レイントゥリーを  
 探して」

「エイプリル・レイントゥリーを探  
 して」という日本語に訳されたカナ  
 ダの本が手に入った。解説を見てみ  
 ると一九八三年に初版を出版、そ  
 の後九年間で八万二千部を売るベ  
 ストセラーになり、以来二十年、年



ごとに六千部は売れ続けており、  
 大学や高校での少数民族研究、ネ  
 イティブ研究などの教材としても  
 用いられているということだ。

内容は作者自身の生い立ち、生  
 きる中で苦闘な運命と環境、そ  
 れらを告発しながら物語りに作り  
 上げている。作者のピアトリス・モ  
 ジニョーは「メイティス」と呼ばれる  
 白人(特にフランス系)と北米イン  
 ディアン女性との混血の血を引い  
 ており、三歳の時に政府と教会の  
 政策にしたがい里子に生まれ、以  
 来十五歳まで親、姉妹から引き離  
 されて成長している。

そして、その間に失ったネイティ  
 ブの母国語、文化とコミュニティと  
 の接触は、彼女自身にあいまいなア  
 イデンティティを形成させ、自分は  
 何なのかというネガティブな深みに  
 導く。それは結局すべてのネイティ  
 ブ民族の現実には起る問題の核に  
 なっていると書く。この本は大きな  
 力を持つ団体の偽善と自分たちが  
 すべて正しいとする人種社会の蔭の  
 部分の物語りである。若い人たち  
 にぜひ読んで欲しい本だ。日本語  
 訳はトロント在住の真壁知子さ  
 ん、佐藤和代さんの共訳でとても  
 わかりやすく一気に読ませる。  
 (明石書店発行、二八〇〇円  
 ISBN4-7503-1889-2)(日塔)

**東京ツアーズ(株)**  
**TOKYO TOURS LTD.**

まごころと感謝を詞に

**旅**

のご相談にお応えします。

**TORONTO HEAD OFFICE**  
 Tel:(416) 504-5111 Fax:(416)504-5115  
 436 Adelaide Street West, Toronto, Ontario M5V 1S7

**FUJI VIP CONNECTIONS**  
 Tel:(905) 672-8855 Fax:(905)672-8860  
 Sheraton Gateway Hotel / Toronto International Airport

**MONTREAL**  
 Tel:(514) 842-1757 Fax:(514)842-0916  
 625 Ave Du President Kennedy, Suite 1203, Montreal,  
 Quebec H3A 1K2

**手打ち蕎麦**  
 カナダ産の「四たてそば」  
 採りたて、挽きたて、打ちたて、ゆでたて

- ・ 蕎麦打ち教室各種
- ・ 生そば、蕎麦粉、丸抜き等小売
- ・ 誕生パーティ等への出張手打ち
- ・ 毎日曜日、ヒロ寿司にて蕎麦屋 等々

**SobaCanada** 蕎麦に関する事は何でもお任せ下さい  
 416-436-7997 sobacanada@rogers.com www.sobacanada.com

# 今、美術評論家？

妻のキルトの縁で絵画紹介の連載をしています

小尾将彦(元PAC駐在)



## □PACでトロントに赴任

自動車輸出が通商摩擦問題になつていた八〇年代、カナダ政府からの要請もあり、日本自動車工業会と日本自動車部品工業会の会員各社が共同出資して、カナダの自動車部品産業の育成強化を目的とする、ユニークな産業協力会社PACが、八四年に設立されました。その後、八六年のホンダに続き、トヨタ、スズキが相次いでカナダに自動車組立工場を進出させ、今や、カナダ市場はもとより、隣の米国市場への輸出拠点として、カナダの経済、産業育成や雇用の創出に予期以上の貢献をしています。

私も、PAC設立当時、検討メンバーの一人でしたが、まさか、私が、九五年の春に、十二年前に自分達が決めたノースヨークの事務所に、五代目で、最後の社長として、ホンダから出向赴任するとは思っていませんでした。駐在中は大変皆さんのお世話になりました。

## □市民活動をしながら

しかし、トヨタとホンダが第二工場の建設を発表したこともあり、十三年間のPACの活動も当初の役目も果たしたので、カナダ政府など関係部門の了解も得て、九七年六月末にPACを解散し、残務整理終了後、帰国しました。九九年に六十歳で定年退職、東京狛江市の自宅に戻りました。再就職はせず、時々ゴルフと地元社会で新しい仲間と市民活動でもと思い、ゴミ半減審議会や市の財政を市民で勉強する狛江財政研究会を中心に、結構多忙です。

## □キルト・アーティストの夫人の影響でコレクション

前置きが長くなりましたが、七年米国ロスアンジェルズに駐在した時に、妻は隣家で拝見したパッチワークキルトに魅せられ、成人学校で、五年間アメリカンパッチワークの基礎をじっくり勉強しました。キルトとの出会いは、妻がその後二十五年以上にもなる今日まで、キルト作りを続ける契機となり、更に、後述する私の絵画紹介の話にまでつながっています。

私の三回目の海外駐在で八七年に、パッチワークの発祥の地である英国に赴任した時には、妻は、英国の最大のパッチワーク公募展に、三年連続で二位入賞し、キルト雑誌の表紙や本で紹介されました。週末には、もともと好きな美術館巡りや、骨董市に出かけ、妻のキルトの影響で、縫い物をしている絵画・プリントや針道具類に目が向くようになり、本格的な収集を始めました。

英国はアンティークの宝庫であり、どこの町にも骨董街があり、毎週どこかで、骨董市が開催されていて、いつの間にか小遣いの大半がコレクション収集に消えました。針道具類なら、小物であり嵩張らず、プリント類も、玄関や洋間の板壁に目いっぱい飾れば収まるとの読みもありました。九〇年末に帰国。九五年には、四度目の海外赴任で、カナダ駐在となり、妻は、カナダキルト界のリーダーの薦めで、個展まで開催の光栄に浴しました。

カナダでも、NYやフィラデルフィア、ニューヨークランドなどの美術館巡りとコレクションの収集を続け、夏と冬休みには、日本発より割安な欧州に飛んで、英国を再訪し、パリやウィーン的美術館

を駆け巡り、蚤の市まで足を伸ばしました。

### □「パッチワーク通信」に連載

私が退職して自宅に戻ってから、〇一年秋には、隔月刊「パッチワーク通信」の市川なおみ編集長が、妻のキルトのことで自宅に取材に来宅。彼女は、英語にも強く、毎号掲載される精力的な海外取材は同誌の目玉記事であり、カナダ各地の取材も数多く、カナダ政府から表彰されたほどです。

市川さんは、我が家の針道具のコレクションや壁いっぱいプリンターの額縁に驚かれ、妻の海外でのキルト活動だけでなく、私達夫婦が集めた針道具類のことも写真付で紹介しました。編集長に、パッチワークや縫い物をしている絵画をかなり見てきたので、連載をしたらどうですかと提案したところ、即決で、やりましょうということに。ひよんなことから、早速同誌の巻頭とじ込み頁に、〇二年の新シリーズとして、私の解説付で、*For Gate* という絵画紹介の連載が、始まりました。

この提案には、実は伏線があります。フィラデルフィア郊外のセザンヌやルノワールの作品所蔵で有

名なバーンズ美術館に出かけた時、入館には予約とか面倒な手続きがあると聞いていましたが、意外にも、同館改装後は簡単に見学できたのです。平塚さんにお話したら、「オーロラ」に同美術館の紹介記事を載せて欲しいと依頼され、同館に掛け合って、ピカソの絵の写真の提供を求めて了解

パッチワーク通信に掲載された小尾さんの解説



縫い物をする浮世絵の女性のページ



る、キルトの掛け布団に包まれた幼児を両親が助けに小舟で漕ぎ寄る光景です。同美術館は、ポジフィルムも貸与も快諾、掲載料も、割引してくれて、順調な滑り出し。二回目は、私が日本の骨董市で見つけた歌麿の浮世絵で明治時代の復刻版、丸髷お歯黒の女性が縫い針をする小品でした。

を得たことがあります。その時の経験から、海外の美術館との交渉もこなせるかもという感触はありました。

最初の掲載は、英国駐在時に見たマンチエスター市立美術館所蔵の英国の大家J・Eミレーの「洪水」と題する作品にしました。洪水で流れ出した揺りかごの中にい

今も出版事業をしている春陽堂の出版した全頁木版の、日本で最初の美術雑誌に掲載されていたものです。

連載も三年目に入り、今までに十四枚の内外の絵画を紹介しました。その中には、トロントのAG O所蔵のH.W.McCrae作の「キルトイングパーティ」もあります。AG

Oとの交渉は、PACでお世話になった洋子ホワイトさんをお願いしました。英米の有名美術館には、直接交渉し、掲載許可を得てきました。紹介したい作品の掲載料が高く、値下げ交渉や掲載を断念せざるを得ない場合もあります。今後、北米では、ノーマン・ロックウェルやアンドリュー・ワイエスの作品、日本では、藤田嗣次や黒田清輝など掲載できればと思っていますが、簡単に承諾が得られそうにもありません。

雑誌発行の二ヶ月前迄に、掲載や著作権の交渉を終え、ポジフィルムをPQT社まで送ってもらい、六百字前後の解説にまとめるのが通常の手順です。海外の美術館との掲載交渉は、衰える英語力の維持にもなり、国内の場合、絵画の著作権者との交渉で、大半好意的に協力していただけていますが、人生のいろいろな断面に触れる場合もあります。作品・画家・美術館の紹介の解説を書くためには、美術館に問い合わせたり、資料探しに図書館などに出かけて勉強するなど、お蔭で新鮮な雑学が増え、ボケ防止には、かなり貢献しています。

先日、知り合いのアメリカ人女性であるキャロルが、家族七名と一緒に来日した。彼女はカリフォルニアで高校の先生をしている日系三世で、昨年計画されていた家族旅行だったが、イラク戦争と空爆の騒動で今年の四月にやっと実現した旅行だった。

今回来日したのはキャロル夫妻を中心とした三世代、つまり日系二世であるキャロルのお父さん、同じく日系三世の彼女の妹、歯医者をしている彼女の娘夫婦、そしてご主人のお母さんで、彼女をのぞく全員が初めての日本訪問であった。

### ◎絶妙な距離の取り方

私は十日間の旅の日程を立て、手配し、同行した。何より心配だったのが、ハワイに住む彼女のお父さんと、シカゴ近郊に住むご主人のお母さんがともに九十一歳という高齢だったこと。しかし私の心配は杞憂におわり、週二回はゴルフをし、毎日車の運転もするといってお義母さんと、パールハーバーへの攻撃を目撃したという、歴史の生き証人であるお父さんはすくぶるお元気で、私達と同じアクティ

ビティをこなし、初めての日本を楽しまれた。好奇心こそが長生きの秘訣、と実感する十日間でもあった。

今回の旅は「桜」と「富士山」をテーマとし、東京、箱根、京都、広島を訪問した。お天気にも恵まれ、また桜も富士山も堪能でき、皆ハッピーな思い出と共に帰国さ

れた。しかし彼らにとって最も印象深かったのは広島市の平和公園と資料館だったそうだ。教師一家のキャロルたちに「広島に何が起ったか」を見てもらえたのはやはりよかった。さらに旅行中、私が感

心したのが、家族の間での距離の取り方が絶妙、ということと、「多様文化家族」ということだった。

## 『キャロル一家の日本ツアー』

片山睦美(通訳ガイド)

### ◎「寛容と忍耐」

ハワイの仏教徒の日系人家庭で育てられたキャロルは、アメリカ東部地域出身の白人であり、敬虔なカトリック教徒であるご主人と大学院で知り合い結婚した。ご主人のお母さんは、日本人を実際に見たのは息子のお嫁さんが初め



## 旅行家族多人種に見事な

て、という保守的な地域に育った人。そしてキャロルの娘の結婚相手はユダヤ教徒。と、この事実だけでも「寛容と忍耐」ぶりが窺えるというものだ。  
「娘が日系人と結婚しなくて寂しくなかったですか？」とお父さんに尋ねると、「人種ではなく、同じ信念を持つ人と結ばれることが大

切」との答えだった。ちなみにこのお父さん、古き良き(?)明治時代の価値観をお持ちで、私が十日間彼らに同行したことで「ああ、これではあなたは家族の世話ができないね。私はあなたの家族に本当にすまないと思うよ。」と口癖のようにおっしゃっていた。(私は家ではほとんど料理をしない、という「事実」を彼が知ったら卒倒するに違いない)

### ◎リトル国連

今回の旅ではキャロルの娘が、血縁関係でいうと車輪のスポークを真ん中で束ねる軸受けの立場にあり、それぞれの立場や考えの違いも彼女の明るさと聡明さでこの家族の車輪を支えているのを感じた。そのためか彼らと十日間旅行をしても、家族旅行につきものの「わがまま」や「葛藤」を感じることもなく過ごせた。皆が相手のことを理性的に、少しずつ思いやっていたことに尽きるのだろう。自分達の家族を「リトル国連」と称したキャロル一家の家族旅行は、昨年、自分の両親の金婚式を祝ってやはり三世代で旅行した私にとって実に示唆に富むものになった。実に見事な家族旅行だったと思う。



# 家訓とりんご

## 酒との付き合い

△安酒は飲むなを「家訓」に

入社早々の新入社員研修冒頭、銀行の偉いさんからの講話がある。中身のほとんどはすぐ忘れた。講話中にいびきを立て居眠りする奴がいる。お偉いさん激怒するのではないかと冷や冷やしている、最後に「ご静聴有り難うございました」と締めくくられたのは感心した。いい銀行に入ったものである。

夕方になると、同期大勢で飲み屋に繰り出す。恭しく頂いたはずの辞令の紙も邪魔であるというので、全員でゴミ箱に捨てた。講話で記憶に残っているのは「安酒は飲むな」だけであり、せめてそれだけ守る決意をした。

最初は本店勤務。やがて毎日のように仲間と飲みに行く。場所はいつも「T」。靴を脱いで座敷に上がる。時々帰るときに靴や傘が違って残っていた。結婚して、「安酒を飲まないこと」を尤もらしい理屈を並べ家訓にすることに

「成功」。当時の安月給の中、回りにサラリーマンが飲むことのなかったワイものを買って飲んでいた。

△りんごで「突撃」

大阪へ転勤。ボーナスを貰うと仁川にある生活協同組合でオルドバーとヘネシーのV.S.O.Pを買う。周りはサントリーレッドの時代である。安月給の身、家計は苦しいかも知れないが、家訓だから仕方がない。仕事はきついから職場の仲間とよく飲みにも行く。返りはタクシー。いつも五人で乗る。五人でタクシーを呼んでも止まってくれないから、一番年下の私が捕まえ、残り四人が蔭からバツと姿を現す。運転手さんは驚き諦める。路面を阪神電車が走る道路を通り、武庫川の土手の所で折れて、甲東園へ行く。一人二百五十円くらいだった。

その後、大阪支店の生活も長くな



る。仕事も変わる。フラストが溜まる。

四年目の冬、四つの課の合同旅行。行く先は日本海側の香住、松葉蟹が一目当てた。行きのバスの中で店長席から差し入れのジョニ赤を回し飲みしていい気持ちで旅館に着く。旅館の宴会場で、乾杯の音頭、すぐに熱燗を飲んでみると、「ここで挨拶」とのこと。課長四人が代わる代わる挨拶。日頃、「きれい事ばかり言いやがって」と腹にある。しかも自身そろそろ転勤らしい。

やや気が大きくなった。目の前に手頃なりんごがある。ついに「いい加減に長話はやめろ」と「りんご」を投げつける。素早く、巨漢揃いの後輩を集めて肩を組み、「突撃」と四人の課長に向けて突

つ込んだ。気がつく朝、あちこち唐紙が破れている。みんな私がやったという。反論しようにも記憶がない。期待の辞令はその後一年もの間出なかつた。(その後現在に至るまで、酒で意識を失うこともないし、りんごも投げたこともない。為念)

△ニューヨークのフィンランドイア

初めての海外勤務ニューヨーク。当時日本では昼食で酒を飲むことはなかったから、ランチ接待で酒を飲むのが珍しく嬉しかった。前任の先輩の飲むウイスキーはデュオースホワイトラベル、早速「家訓」に則り、デュオースの十二年もの「アンセスターズ」を自分のウイスキーに定める。ブランドイアに關してはいろいろなものを漁った。コニャックでは、何とかのナポレオン、何とかのゴールドンブルー、何とかのオルダージュ……、だが定まらず、コニャック、アルマニャックの他、イタリヤ、ギリシャ、ドイツ、アルメニア、グルジアまで試してみた。コニャック、アルマニャックを除けば、アルメニアが秀逸である。

カナディアン・ウイスキーもこの頃知った。口当たりが良いのでよく飲み過ぎた。アメリカ人はウオッカが主流でカクテル中心になっていた。その頃からウオッカはギザギザ・ガラス瓶のフィンランド製のフィンランドイアを家訓ウオッカと決める。カクテルはロバート・ケネディが暗殺される直前に飲んだトムコリンズ、映画「北北西に進路をとれ」の主人公が飲んでいた酒飲みのカクテル、ギブソン。出張の帰りにドライマルチニを飲みながら出張レポートを書く、素晴らしいアイディアが浮かんだような気がした。(翌日飲み直すとさっぱりだったが)

△帰国して焼酎から「菊姫」へ

四年半後帰国。ウオッカの余韻でまず焼酎を飲むようになる。するとその直後に焼酎ブーム。焼酎ブームの頃、気付いたのは日本酒が美味になつて来たこと。焼酎は卒業、純米酒、吟醸酒などへ転向。その後日本は純米酒、吟醸酒ブーム。酒に関しては時代に先行していた。

貸付課長時代、課内旅行を頻繁に行う。挨拶は一切行わず(りんごをぶつけられる恐れのある側にまわつていたから)。部下が趣向で「利き酒大会」をするという。ミニボトルのウイスキーをグラスに入れて部下の一人が別室で待機。そこに一人一人が入つてウイスキーの種類を当てるといふもの。「ジョニ黒」と自信たつぷりに答える、すると驚くことに「ハイニツカです」との答え。「ハイニツカは美味いよね」が精一杯であつた。(部下の一人が入つてきて、私の飲んだミニボトルの一滴を口にして、「これはひどい味だ」と一言。かくて尊敬される課長像からは程遠い存在となつた)

後年、家内と娘と外食した折り、出てきた熱燗の銘柄を当てつこする事になつた。よく判らないから日本酒で一番出荷量の多いという「月桂冠」と答えておいた。家内、娘は「桜正宗に決まってるじゃない」と生意氣を言う。果たして「正解」は「桜正宗」であつた。

家庭においても戸籍筆頭者の地位は没落する。「家訓」は風前の灯。

その後、ニューヨーク以来気の合う先輩Yさんとよく一緒に酒屋の土間で立つたまま飲む。東京駅近くのガード下で二人して飲む。でも決して品質の悪い酒は飲まず、良い酒中心であつた。同期の酒好きが八重洲の秘密の飲み屋に誘う。石川の大吟醸酒「菊姫」であつた。

△中国では「白酒」、インドネシアでは  
ピンタンビール

やがて中国部長の辞令。頭取一行に随行、中国訪問。北京での一連の訪問が終わり桂林へ。中国銀行桂林支店長の歓迎宴。飲み比べとなる。日本側の「酒席代表」は私。中国の宴会ではワイングラスよりかなり小さなグラスの白酒(蒸留酒、マオタイなど)、ワイングラスの醸造酒(紹興酒、ワインなど)と大きなグラスのビールか、ジュースかコーラ合計三種類出される。その時は六十度の白酒での飲み比べである。一計を案じて、白酒を半分飲んでコーラを飲む振りをしてそこに残りを出す。その内に喉が渴きコーラをがぶ飲み。結局何にもならず、ふらふらで部屋に戻つた。(中国側の酒席代表もコーラにはき出してた。気持ちの良い宴会で、林檎を投げつけるような日中友好に反する行為は一切なかつた。第一目の

前にりんごがなかつた。為念)

その後北京駐在員事務所所長を拝命、宴会の日々となる。経済引き締め政策で白酒まかりならぬとなり、ワイン主流となる。中国産ダイナスティの白が美味。北京ではビールが美味であるが、当時は五星ビールという国産ビールが最高とされた。その後サントリ一の技術協力を得た燕京ビールが大変味が良くなりお勧め。

キャビアが安く手に入るのでウオッカをよく飲んだ。ロシア製よりアメリカ製が多いのも面白い。北京空港には多くのロシア人が買出し品を持って帰るが、「アルグオトウ」という中国の焼酎がその中に入つていと言われていた。この焼酎は安いこともあり、中国庶民の酒であるが、飲む機会はなかつた。(家訓が理由ではない)

ある時橋本蔵相(後首相)が北京に來訪。中央銀行総裁との飲み比べで総裁が体調を崩したらしい。北京空港で橋本蔵相にそのことを確かめると、「日本の名譽にかけて頑張りました」とのお答えであつた。

△ギブソンを傾けながら

さて、酒との付き合いも随分長くなるが、心の落ち着く思い出も多い。トロントでは弁護士Pさんと定期的にボードオフトレードでランチを一緒にした。Pさんお好みの円錐型グラ

スに入った「ギブソン」を一緒に傾けながら、談笑する時間は至宝のひとつであった。このひとときのためにトロントに住むことを決めたのかも知れないが、Pさんは他界されてしまった。

二回目のジャカルタ生活はホテル住まいを選んだ。夕方仕事から帰ると、部屋と同じ十階にあるラウンジに行く。Complimentで酒が飲める。ボーイにドライマチニーの作り方を教え込む。円錐形のグラスに入ったキリリとした液体を眺めていると、Pさんが思い出された。

△我が酒人生に悔いなし

友人のK君がここに良く現れるようになる。私は一杯しか飲まないが、彼は三倍飲む。一杯につき千ルピア(十五円くらいか)のチップをボーイに渡す。三倍のK君は宿泊者でもないのに人気があつた。

ジャカルタの二回目の二年半は職場ではインドネシア人の友人に恵まれ、ホテル生活に恵まれ、人生で最も恵まれていた時期かも知れない。

一杯十五円で飲むドライマチニー、入社の時の講話、家訓からは随分離れてしまつたが、もう自由な身である。高い酒も随分飲んだし、我が酒人生に悔いは無しというべきか。第一、ジョニ黒||ハイニツカでは道を極めること不可能であるし。

バスチオン・スクエアの一角(下)  
と幽霊の出るコリドー



『庭園都市』『BC州の宝石』『カナダの桃源郷』など、ビクトリアを形容する名称はたくさんあるが、『Capital of Ghosts』というのも、実は知る人ぞ知るニックネームだ。一八六八年以前にハドソン・ベイ・カン



パニーによって町が築かれ、歴史的な建造物や名所が多いだけに、ビクトリアは北米で最も頻繁に幽霊が出没する土地の筆頭に上げられているのだ。

地元の歴史家ジョン・アダムス氏の著書には、ビクトリアの幽霊の話が多く、先日彼の面白い講演を聞く機会があった。

#### ↑ハンギング・スクエア

ダウンタウンの一角に、バスチオン・スクエアという海洋博物館やカフェやレストランが並ぶ観光地がある。石畳が続く、ちよつとレトロっぽい場所で、旅行ガイドには「博物館

は元裁判所で、館内にあるエレベーターは北米最古・云々」と書いてある。私は以前、全く予備知識なしでこの場所を歩いたとき、何となく寒気がして嫌な気分になった。自分では霊感とか、あつち方面の感受性は鈍いと思っていたが、アダムス氏から「バスチオン・スクエアこそ、ゴーストスポットのナンバーワン！」と聞かされ、妙に納得してしまった。

一八五九年から一八八五年まで、バスチオン・スクエア一帯は刑務所で、当時「ハンギング・ジャッジ」の異名をとる裁判官が、次々と二十七人を絞首刑にしたという。今でも残っている狭い路地では、鎖をひきずる足音が聞こえたり、海洋博物館内でホルターガイスト現象が起こつたりするそうだ。

このあたりにあるレストランやショップでは、幽霊にまつわる話がっぱいで、博物館の真向かいのレストラン Camille's は、スタッフが男女の幽霊によく遭遇し、そんなときは必ず葉巻の匂いをするらしい。

↑建築家ロッテンベリーが出る  
エンプレス・ホテル

ところで、ビクトリアの観光名所



# ビクトリアの幽霊スポット

## ゴースト・ツアーもあります！

### 北米筆頭の幽霊の出る街

志摩夕美



でもある州議事堂、エムプレス・ホテル、クリスタル・ガーデンの三つの建物を設計したのは、若きイギリス人建築家ロツテンベリー。彼は故国で殺害されるという不幸な最期だった。カナダで名声を成し、幸せだった頃の思い出が彼の霊を呼ぶのだろうか、エムプレス・ホテルによくお出ましになる。

「ビクトリアの顔」と呼ばれるエムプレス・ホテルは、ツタのからまる威風堂々たる外観や、重厚なアンティークの調度品に囲まれた部屋で有名だ。そりや、幽霊さんが出やすい雰囲気だよね、と思うのは私だけではないはずだ。

↑ 幽霊散歩を楽しもう

有名なホテルだけでなく、町の小さなベッド&ブレイクファーストでも、宿泊客が幽霊と同室になってしまふことが多々ある。この紙面ではいちB&Bの名前をリストアップするのは避けるが、ぜひそういうB&Bに泊まってみたいと興味のある人は、ジョン・アダムス氏のホームページを[www.discoverthebest.com](http://www.discoverthebest.com)をご覧ください。

アダムス氏は毎年夏になると『幽霊散歩』のガイドとして、ビクトリアのゴーストスポットを二時間かけ

て散歩するツアーを企画している。イベントの圧巻は、ハロウィーンの前二週間に渡って行われる『ゴースト・フェスティバル』。町を挙げてのお祭りだ。

彼は『ディナー・ゴースト』も月に

一度催している。由緒あるレストランで、その場所にまつわる怖い話を聞きながら三時間の夕食会である。いつか絶対に参加しようと思をソクゾクさせている。(私も好きねー！)

(ビクトリア在住)



エンプレス・ホテル



西川浩平

## 『東洋の真珠 ペナン島の旅』

チャドル姿で

膝枕のカップルに乾杯！

多民族・多文化の

マレーシアにて

四月半ば、イラクでは三人の日本人が人質にされ、さらに二人のジャーナリストも拘束されたとして、日本では国政をも揺るがす大騒動になっていました。丁度その同じ時期、私はマレーシアの西側に位置し、「東洋の真珠」とも形容され親しまれる、ペナン島に滞在していました。イスラム教を国教として定めるマレーシアでの滞

在ですから、「少しは緊張も強いられるか……この不安をよそに、きわめて平穩、のどかな数日が過ぎていきました。

ペナン島はマレー半島北西岸沖、マラッカ海峡の北の入り口を制する戦略的要点のため、東南アジア進出を目指すイギリスにより、一七八六年占拠されイギリス領となり、自由港として欧亜交通の要点となって発展します。マレーシア建国後、独立を果たすシンガポールとは一線を画し、マラツカとともに「ロリアル風な町並みを残す、詩情あふれる都市といえるでしょう。

多民族国家としてのマレーシアは、人口五割強のマレー人、二五%ほどの華人、一割のインド人、その他となり、宗教的にも街にはイスラム寺院、仏教寺院、道教寺院、ヒンドゥー寺院、それにキリスト教会も加わり、多種多様な神々が街にあふれかえっています。しかし前述の民族と宗教分布は必ずしも一致しているわけではなく、インド系の中にもイスラム教のバキスタン出身者、スリランカの仏教徒、また華人の中にも多くのキリスト教徒もいるといった具合に、民族と文化は、簡単に一つの枠では当てはまらない複雑なものであるようです。

三十度を越す炎天下、私は町並みの木陰にひと休みし、行き交う人々の流れを何とはなしに眺めていました。このように人の流れに目をやり、その表情、生活などを感じ取るのが旅の醍醐味といえるものです。

トゥドゥンという、イスラム女性が髪を覆うように身につけるスカーフをなびかせて、何か楽しそうに話をしながら歩くマレー系の学生たち。短パンにランニングシャツといういでたちでバイクに乗り、前が見えるのかしらと心配になるほどの大きな荷物を運んでいるおじさん。屋台で中華鍋を休む暇なく動かししている料理人。もう街そのものが映画の「コマのようで、いつまで経っても見飽きることはありません。

その時、突然私の目の前をなにやらヒラヒラするものが、ものすごい勢いで通り過ぎました。それは二人乗りでバイクに乗っている若者たちだつたのですが、ヒラヒラと風になびかせているのは、インド系の女性が着ている美しいサリーだつたのです。彼女は何と頭には青いヘルメットを被って、運転する男性にしがみついて、キヤーカーとはしゃいでいるのです。日本ではいくら何でも、振袖姿でバイクには乗らないだろうと思いますが、サリーやトゥドゥンといった衣装

は、もつと一般的に人々の生活の中に入っているようでした。

それからしばらくして、またあるカップルが私の前を通りすぎました。カップルの女性は、この街並みにおいても目立つ存在、街の人も一瞬見つめてしまう格好をしていたのです。男性のほうは普通の服装をしているのですが、女性は目だけを外に出し、後は他人に見られないように全身を覆うように着用するチャドルともいわれる真つ黒のマント状の布を、頭からすっぽりと被っていたのです。

マレー系の女性たちは、同じベールでも涼しげな色のスカーフを、髪が見えないように頭に被り首の所で結び、顔は出していますから、表情が分かり、むしろ民族衣装というか、それほど宗教色を感じないある種のファッションともとれるものです。しかしこの女性の中でたちから、私はすぐに、イラクでたつた今起こっている問題が頭に浮かんでしまったのでした。

チャドル姿の女性は、それは神秘的でエキゾチックです。と同時に、少なからぬ怖さを感じたのです。

二人はどうやらトラベル雑誌なのでしようか、本を片手に持っていて旧市街の散策の様子でした。多分中近東のある国からの旅行者では

ないでしょうか。同じイスラム圏でも、その衣装の習慣は、国々、宗教などによつてかなり違うらしく、ベナン人の街の人たちも遠巻きに「どこから来ている二人だろう？」などと話している風に見受けられました。

しばらくして汗も引き、私は海岸沿いのコタ・ラマ公園に向かいました。「……アレ？あのカッブルだ！」私は先ほどの中近東からの旅行者とおぼしきカッブルが、公園のベンチで休んでいるのを見つけてました。それが、目だけを出して真つ黒の布を被ったその女性は、彼氏の隣に横たわり、チョココンと膝枕してもらって嬉しそうに二人で話をしているのです。

別に若い男女が公園で膝枕をしていても、全く不思議に思うことではないのですが、この時は少しびつくりしました。

「……そりゃそうだよね、若い二人なんだもん、ひざまくらくらいするよな……」

なにか神秘的な雰囲気を感じ、隔たりに感じていた私の印象は、大きく偏った先入観だったのだと、一瞬にして理解できたのです。

「良いものを見させて貰ったな」私は何故か嬉しい気持ちでいっぱいになったのでした。

日本においても、私がベナンで見たように、ごく自然にイスラム圏の人々や、違った文化を持った国々の人々との交わりがあれば、そして日本にもつと多様な民族を受け入れる土壌があれば、知らず知らずのうちの偏った印象も薄れていくはずなのだ、という気持ちを持つたのでした。

その晩、ホテル近くの屋台で生ぬるいビールと氷の入ったポウルを出してもらい、「この水でビールを冷たくすれば、絶対お腹を壊すんだろな」と分かっていたながら、正露丸を片手に「チャドル姿のカッブルに祝福を！」と乾杯をしたのでした。

#### 【筆者のプロフィール】

大阪フィルハーモニー交響楽団の首席フルート奏者として活動後、日本の笛も学び日本音楽集団に入団。二〇〇〇年には「デイエゴ・ルズリアガ作曲「横笛のための協奏曲」を東京フィルハーモニー交響楽団と初演。一九九七年より毎年続けている「ニシカワ・アンサンブル・カナダ公演」は今年六月第六次公演旅行を予定。CDアルバム「Futurist from the East Vol.1.2.3」著書は「邦楽おもしろ雑学事典」など。昭和音楽大学、洗足学園、桐朋学園短期大学、各講師。

## 『黒御簾の内から』

日本音楽の舞台裏

西川浩平著

黒御簾とは歌舞伎の舞台下手にある音曲演奏者が舞台の役者の動きに合わせて伴奏音楽を演奏をする部屋。その部屋の黒い簾（すだれ）がかかった窓を通して、笛・鼓・太鼓、三味線、歌い手の伴奏方が芝居の進行を見ながら演奏をする。

前著「邦楽おもしろ雑学事典」で、邦楽器、邦楽の成り立ちについての蘊蓄（うんちく）を、わかりやすく、読者の好奇心に訴えながら、鮮やかに解説したお手並みを發揮して、今回は歌舞伎、文楽の伝統音楽、オーケストラと協奏する現代邦楽の舞台裏に案内してくれる。観客席からでは見えない舞台裏の構造や仕掛けの説明、そこで働く人々の習慣がエピソードを混ぜて巧みな語り口で語られている。「一歩はいれば、江戸時代」と著者がいうように、そこは縁起担ぎや大入り袋の温習の世界でもあるようだ。



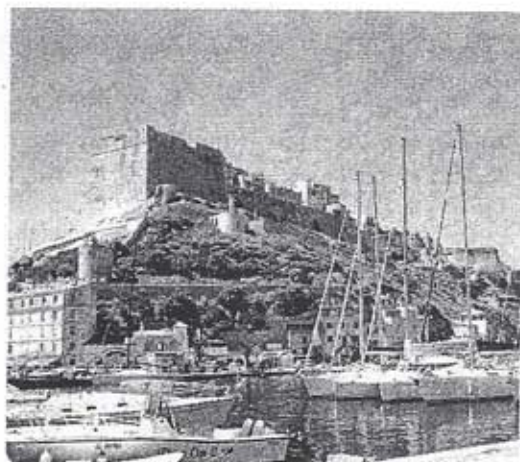
本文の所々に音楽、劇場と関係のある人々のインタビューが入っている。歌舞伎狂言方の三上繁二さん、江戸里神楽の松本源之助さん、女義太夫の鶴澤津賀寿さんたち六人で、中でも音楽制作者の奈良義寛さんの日中韓をはじめアジアの伝統楽器集団による「オーケストラアジア」設立とその活躍の話は、伝統音楽が世界と結びつき広がっていく夢がある。本著によれば、尺八奏者として、古典・現代、和洋の両分野で内外で縦横無尽に活躍する著者が、その昔、北島三郎の専属バンドでサクスを吹いていたことがあったそうで、それもまた懐かしい。（ヤマハミュージック・メディア出版、千七百円＋税 ISBN7636-20672-X）

★要塞に守られた町ポニファシオ

地中海の「コルシカ島」といえば、ナポレオンの生まれ故郷として記憶の方が多いことでしょう。昨年五月、ある住宅情報誌の取材で、そのコルシカ島を訪れる機会を得ました。数年前にインテリア雑誌で見かけた一軒の家に魅了され、自分の目で確かめたくて、企画を持ち込んだのです。

その家は、コルシカ島の南部にあり、海から垂直に切り立った断崖に建っていました。室内の床がところどころ四角にくり抜かれ、ガラスがはめ込まれて、そこから六十メートル下の、透き通るように青い海を望むことができる、不思議な家でした。

城から見た城塞に囲まれた街



コルシカ島は、日本の兵庫県とほぼ同じ大きさです。地中海の島の

## コルシカ島

# ポニファシオ

## 断崖に立つ家を訪ねて

松宮未永子

車を借りて、一路ポニファシオに向かいました。

初日は、まず町を歩くことにしました。ポニファシオは、こつこつとした岩壁がうねうねと海岸線を形づくり、その間に白砂の美しい砂浜が顔を覗かせている、風光明媚な土地です。海拔七十メートルの断崖の上に要塞が築かれ、それに守られるように、中世さながらの小さな町が残っています。

コルシカ島は、紀元前の海洋民族の侵攻に始まって、ローマ帝国、ムーア人、イタリア都市国家、フランスと、外部からの侵略の歴史に彩られています。とくに南端のポニファシオは、侵略者が最初に上陸する場所でした。断崖の地形を利用して頂に要塞を巡らし、その内側に町をつくるというのは、こうした歴史の必然によるものだったので



断崖の上の家

一七六八年にフランスの領土となるまで、最も長い期間コルシカを領有していたのは、イタリア都市国家のジェノヴァです。ですからコルシカは、文化的に、フランスよりもイタリアの影響を多く受けています。ポニファシオも、イタリア文化の影響を町のあちこちで発見することができます。砲台のある南端の岬（ここがフランスの最南端になる）にある墓地には小さな家のようなお墓が並んでいます。これもイタリアでよく見かける形態だということです。

中では山がちで、平地はほとんどありません。山脈が背骨のように島の中心を貫き、二千メートルを越える高峰がいくつもある様子は、「海に浮かぶ山」とでも言えはいいでしょうか。北の中心地はバステリア、南の中心地はアジャクシオで、アジャクシオはナポレオンの生まれ育った町です。それからさらに南に下った最南端の町が、今回私の訪れた要塞都市「ポニファシオ」です。

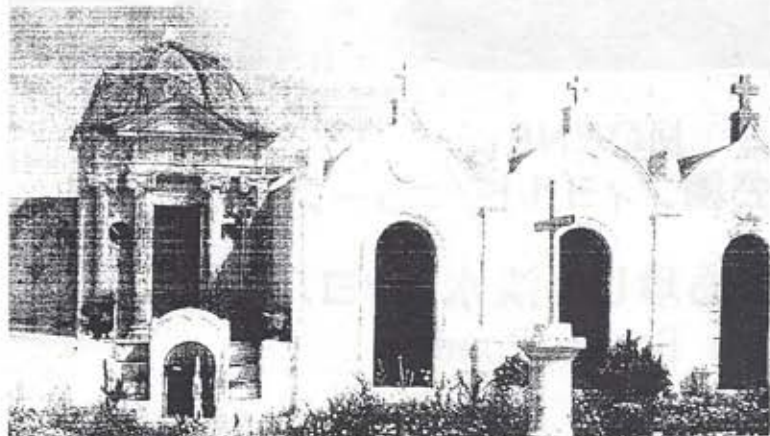
コルシカ島へは、イタリアからも行けますし、南仏のニースなどからフェリーでも行けるのですが、私はパリから飛行機で入ることにしました。島には四つの空港があります。ポニファシオに近い空港はフィガリです。ローカル線エール・リトルでオルリー空港を飛び立つと、約一時間半でフィガリに到着します。カメラマン、通訳、私の、三人の取材チームは、そこからはレンタカ

要塞の中の中世の町並みがポニ  
フアシオのハイライト。四階建ての  
石造りの家並みは、十三世紀、十  
四世紀ごろのもので、メインスト  
リートには、お土産屋さんやワイン  
ショップなどが並んでいるのですが、  
ちよつと横道にそれると、狭い通り  
を横切るように窓から窓へ洗濯物  
が吊るされて、昔ながらの庶民の暮  
らしをかいま見ることが出来ます。

### ★海をアクセサリーにした断崖の 家

翌日は、いよいよ取材。パりにア  
トリエを持つ、建築家で家具デザ  
イナーでもあるダミアン・ロランさ  
んのセカンドハウスをお訪ねするの  
です。学生時代にポニフアシオを訪  
れたロランさんは、青い海と強い太  
陽、そして断崖の風景に魅せられ  
て、ここに家を持つと決心しまし  
た。そして手に入れたのが、十四世  
紀に建てられた四階建ての一階と  
二階部分です。三階と四階には別  
の家族が暮らしています。一階部  
分は、元は口バの飼育小屋だったそ  
うです。昔は、盗賊から守るため  
に、夜には家畜を家の中に入れてい  
たのです。二階部分は洗濯したり  
パンを焼いたりする作業場でした。  
ロランさんは、廃屋同然だった内  
部の掃除に通つて改築の計画を練

りました。そして得た結論は、「海  
が目飛び込んでくる家。しかし、  
断崖にいる恐怖を感じさせない家」  
というものでした。ポニフアシオで  
は、一年のうち二百五十日以上、  
地中海特有の強い風が吹きます。



断崖という環境は、ただでさえ気  
分が落ち着かないのに、吹きすさぶ  
風の音を四六時中聞いているのは  
恐いものです。だから、「海を少し  
遠くに感じる空間づくりをしよう」  
というのです。

まず、海側の窓はあえて小さめ  
につくり、寝室やリビングは、海か  
ら離れた位置に置いて厚い壁で仕  
切りました。その代わり、床をとこ  
ろどころを四角く切り取つて青い海  
が見えるようにしたのです。ロラン  
さんはこんな仕掛けを施したこの  
家を「海をアクセサリーにした家」  
と表現します。

明るく強い陽射しが内部まで届  
くように、部屋の仕切り壁も、とこ  
ろどころ四角くくり抜きました。海  
側はサンルームのようにして、隅に  
コルシカ特産の石材でつくったバス  
タブを備え付けました。扉も開い  
ても無いこのバスタブに浸かつて海と  
の一体感を味わいながら、自分を  
見つめ直すのだそうです。

ポニフアシオは、近年はリゾート  
地としての評判が高まり、夏の三  
カ月間は町の人口が三倍にも膨れ  
上がります。とはいえ、本来の人口  
は二七〇〇人、ほとんどの人が知  
り合いで、多くが親戚関係にある  
という土地柄です。長い侵略の歴  
史のなかで、同族同士助け合う習  
慣が根付き、ときには犯罪者を家

族がかくまうといったことも起こる  
のだそうです。ロランさんは、山の  
手にアートスクールをつくるための  
用地を購入しましたが、その洞  
穴にも、つい先頃までそうした犯罪  
者が家族にかくまわれていたそう  
です。

そのアートスクール用地と岩山  
を隔てた海側に、小さな教会が建  
つていました。そこは、コルシカ島に  
初めてキリスト教の宣教師が足を  
踏み入れたというところです。私達  
が訪れたのは夕方でしたが、神父  
さんがひとり、石段に座つて海の彼  
方のサルデーニャ島を眺めていまし  
た。おそらく、訪れる人もほとんど  
いないこの教会を一人で守っている  
のでしょう。孤独ななかにも静謐な  
暮らしぶりが私の心にしみ入りま  
した。

一九八八年から五年間のカナダ  
暮らし、その後の取材活動の中で、  
私は、素晴らしい景色を数多く目  
にしてきました。地中海の明るい陽  
射しのもと、どこまでも青く輝く海  
を断崖から目にしたポニフアシオの  
風景も、私にとって生涯忘れ得ぬも  
のとなりそうです。  
（松宮未永子さんはトロント在住  
中、オーロラ創刊号から第三号ま  
で手伝ってくださいました。帰国後  
はフリーランスで取材編集活動を  
されています）

上は教会の墓地とロランさんのリビングルームの床に明けた海が見える窓



West Brook Pond のフィヨルドにて、筆者

## GROS MORNE 国立公園フィヨルド／ニューファウンドランド

### 世界でも珍しい淡水フィヨルド Western Brook Pond

大野隆史 (国際協力銀行トロント)

カナダのフィヨルドを目のあたりにし、自然の偉大さと美しさに大いに感動しましたので、ご紹介します。  
このフィヨルドへはニューファウンドランドとラブラドル州都の St. John's に飛び、さらに西へ一時間十五分の航路にて Gros Morne 国立公園の出入口 Deer Lake 空港へ(トロントからの直行便有り)、次いで国立公園経由にて北へ車で三時間、そして尾瀬沼のような湿地帯を一時間ほど歩き、

Western Brook Pond からのボートツアーを利用します。  
目的地のフィヨルドへの往路が復路に、St. John's に寄ることをお勧め致します。なぜなら St. John's 市は一四九七年にイタリヤ人 John Cabotto が発見した後、一五八三年に英国初の海外植民地になった歴史のある街で、北欧のアイスランド風の木造家屋が建ち並ぶため、ひなびた旅情に浸れ、また港から五時間のボートツアーに

より白長須鯨(白い腹が海中で緑色に映えるため Green Whale と呼ぶ)・座頭鯨の虹を伴つてのダイナミックな潮吹き、島の断崖に群がる色鮮やかな海鳥 Puffin、四〜七月には海に浮かぶ氷山をウォッチング出来るからです。

さらに南に車で小一時間で米州大陸最東端の Cape Spear に達し、大西洋をばさんで欧州大陸最西端であるポルトガルの Roca 岬へ二千四百キロの地点に立つことが出来ます。大陸の西端を訪れると、次は東端に行つて見たくなるもので、私共夫婦も長い欧州生活の中でも強い思い出の一つになっている Roca 岬を訪れたため、Cape Spear も是非とも訪れた次第です。

この Cape Spear には州花で食虫花の Pitcher Plant の赤い可憐な花や珍しい Bakapple, Partridgeberries 等として Blueberries 等の可愛い花が咲

き誇っています。これらの草花・灌木の実から醸造される各種の果実酒も土産に最適です。St. John's のレストランでは現地産採り立ての Snow Crab (生茹でを注文する。BC州の Dungeness Crab よりやや甘みで美味)や Ocean Hoki (赤鯛の一種)もお勧めです。

本題に戻りますが、St. John's を後にして、早朝の便で Deer Lake に到着。早速レンタカーでルート430を北へ一時間半、左に右に美しい湖と林が迫り来る Gros Morne 国立公園の中を抜けて Rocky Harbour の Inn にチェックイン。ボートツアーのスケジュール上、フィヨルドは翌日に持ち越し、ロブスターが売り物のレストランで生茹でを賞味しました。午後は巧く使おうと、Trout River ヘルート430からルート431を辿ります。





途中、草一本生えていない台地状で、南アフリカのケープタウンの Table Mountain を彷彿させる海拔二二三三メートルの Tableland の荒涼さは圧巻です。Tableland は GrosMorne 公園一帯が氷河により現在の地形が形成された九千年前頃、地下数十メートルから流出したマントルが海底から押し上げられて誕生した巨大な岩山なのです。

フィヨルドが存在する Western Brook Pond 一帯は十億年以上前の地層で、一万五千年前までは氷河に覆われていました。この時代に大氷河は二本の岬状となつて Harrington Harbour (対岸はケベック州の

Musquano 地方) 方向に流れ落ち、一

つは Long Range Mts. の高原を、もう一つはユーファウンドランド島の内陸を形成しました。その前者の氷河の先端は Long Range Mts. を引き裂き、浸食した一方、Harrington Harbour の海岸線を浸食しました。同時に海底の一部が隆起し、同 Harbour と繋がっていた湖を淡水湖として遮断してしまつたのです。ノルウェーの Bergen, Leikanger から入るものも、湖が北海と繋がっていることから考えると、このフィヨルドは淡水湖を取り囲んでおり、世界でも珍しいものです。フィヨルド巡りのボートツアーのチケットは前日か当日の早朝に購入の要ありです。

翌朝車でルート430を北に向かいセントローレンス湾を左手に見て一時間半程の Salley's Cove にパーキングします。ここからは、一時間の徒歩。徒歩道は、尾瀬沼のように湿地帯に築かれた板道です。地平線の向かうには小高い灌木林が続き、道のすぐ脇まで珍しい地衣類、湿原の草花や前述した高山植物の花が咲いており、時たま巨大な Moose (ムース) が遠くに現れることもあり、心が和む道でした。(双眼鏡の持参をお勧め)。

Western Brook Pond のボート乗り場に近づくと、忽然と広い湖面を前に、想像に絶するほどにフィヨルドの



ニューファウンドランド州花、

食虫花の Pitcher Plant と「ムースに注意」の道標

雄々しくも気高い威容が目飛び込んできます。四十人乗りのボートが進むほどに、細長く奥深く続く湖面(往復約二時間半)からは、湖の両側に様々な景観をなして数百メートルの高さでそり立つフィヨルドが眺められます。ダイナミックさに見とれていると、今度は高い山頂から湖面に直下する滝が幾つも現れ、それらの景観は自然の力の大きさを如実に感じさせるとともに、見る者を飽きさせない変化に富んだものです。

さらに素敵なことに、乗船中もフィヨルドの湖面に近い樹々の中にムースが、そして高い樹の上に白頭鷲が眼前に現れるのです。フィヨルドを走馬燈のように想い出しながらも、初夏の風に吹かれ、夕暮れが迫り来る広い湿地帯で、珍しい可憐な花を見つづる路を辿る心地よさは、今でも私共の良き思い出となっております。

車で宿泊先に戻る最中に、二人とも野生の巨大なムースを至近距離で

見たいものと、車の中から妻が「大きな体は怖いから、お顔だけでも見せて頂戴」とふざけたところ、何と突然道路脇にムースのカップルが出現、二人とも仰天しつつ、慌ててVTRと写真を撮りまくりました。同州の道路では、車がムースに激突し潰れている黄色の注意標識をよく見かけるわけです。

翌日フライトまでの時間を利用して、ルート430を南下、Dear Lake を通り過ぎ、同州第二の都市 Corner Brook を訪れました。St. John's とは全く違い緑豊かなしつとりとした街で、十八世紀後半に James Captain Cook が発見、彼の発見のモントメントがある小高い丘の上からは、眼下に美しい George Lake が見える等、訪れるのに値する所です。フィヨルドの雄大さを満喫する(こ)とは勿論、フィヨルド以外の観光ポイントにも言及してみた次第です。

# いつも新発見

## マルチ食材を楽しむ毎日

多田早苗

トロントで暮らすようになっていつの間にか三年十ヶ月経ってしまつた。大方のことはさすが慣れていくはずなのだが、それでも毎度毎度近所のスーパーマーケットに行く度に食材の種類の多さに驚かされる。冷凍食材やソースの類は勿論、中米、南アジア、中近東、中国、タイそして日本等各国・各地域の調味料や乾物、缶詰もさることながら、世界各地の原産地表示が並ぶ野菜・果物のコーナーは、いつ見ても何かしらの「発見」がある。あるいは、量や種類があまりに多いので、ただ単にそれまで気が付かなかつただけかも知れないが、当然のことながらトロントに来るまでは縁のなかつたものも多々ある。

### ◆ビーツはサラダとリゾットに



その筆頭格がビーツである。別にカナダが原産という訳ではないのだが、友人宅にお招かれられた際やレストラン等で味わう機会が多々あり、いつの間にかあの鮮やかな赤紫色と大地の匂いを含んだ甘さが忘れ難くなつてしまった。ちなみに、日本でも手に入るような缶詰もスーパーには売っているのだが、とても簡単なことゆえ素材から買って自分で調理した方が断然美味しい。  
アルミ箔にくるんで焼くという方法もあるそうだが、私が愛用し

ている料理本によれば、ただよく洗い、たっぷりの水で皮ごと火に掛けるだけ。茹で時間は大ききにもよるが、中型のものであれば一時間半ぐらい。菜箸がすつと通れば茹で上がりである。火から降ろし、冷めたところで皮をむけば完了。ビーツといえばボルシチを連想される方も多いと思うが、私はもっぱら輪切りにして、フレンチマスタード、酢(もしくはレモン汁)、オリブオイル、みじん切りのシヨウガに塩、胡椒を混ぜたドレッシングで和えたサラダにすることが多い。あるいは、ビーツを賽の目にし、同じドレッシングであえたものにリコッタ・チーズを混ぜ、コリアンダーを添えたものもアジサイのような見た目が美しく、しばしば作っている。ともに食卓に出す前によく冷やした方が美味しい。  
尚、ビーツの茹で汁は濃い茜色となるのだが、これも活用できる。カナダ人の友人が、有るレストランのバレンタイン・メニューで食べたものを再現してくれたのだが、これが目にも美しいリゾット。リゾットに使う出し汁をビーツの茹で汁に変え、仕上げに賽の目にしたビーツを加えるというもの。味付けは通常のリゾットより多めのパルメザン・チーズと塩、胡椒。

### ◆アーティチョークのマヨネーズ



アーティチョークも日本では入手が難しいが、こちらでは簡単に手に入る食材。最初に見た時は、いったいどこを食べるのかと思つたものだが、友人に聞いたところ、上半分と付け根の部分を切り落とし、外側の花弁を三〜五重分取り除き、蒸し器で中心部に菜箸が通るまで蒸すだけ。本当は、芯の部分、いわゆるアーティチョーク・ハートだけを食べるものらしいが、私は多少お行儀悪く、花弁の下部分も前歯でそくようにして食べている。  
友人はレモン・バターを勧めてくれたが、私はマヨネーズをつけるのが好きである。蒸し立てのアーティチョークの、ほんの少々苦みを含んだほつくりとした味は、どこかしら筍に似た味がするよう気がする。私だけか。アーティチョークは、ピザの具としても人気があるが、こちらには調味済みの缶詰めアーティチョーク・ハートが使われることが多いようである。



◆ズッキーニは  
醤油マヨネーズで



ズッキーニは、今や日本でも比較的入手が簡単だが、それでもこちらの価格に比べればやはり高嶺の花の観がある。とはいえ、日本というよりも東京の生鮮食料品は、こちらと比べると、何でも非常に高額なのだが。蛇足ながら、帰国し、一本単位で売られているニンジンやセロリ、量売りではなく、個数単位で売られているタマネギやジャガイモを見る度に溜息をついてしまう。さて、このズッキーニ、スープやトマト・ベースの野菜シチューに入れたり、オリーブ・オイルで焼いて塩、胡椒、レモン汁で食べるのもよいのだが、ただ単に輪切りにして水にさらし、醤油とマヨネーズを混ぜたソースをつけて食べるのをお勧めする。ズッキーニを生で、というと少々抵抗があるかも知れないが、こちらのケータリング・メニューで出てくる野菜スティック盛り合わせの中の生のプロッコリーやカリフラワーに比べるとバ

リアーが低いのでは、等と勝手に考えるのだが。

◆甘みは何でも  
メープルシロップ

最後に、野菜ではないが、トロントに来て初めて日常的に使うものといえば、何といってもメープル・シロップである。ヨーグルトや果物にかけるだけではなく、麵つゆや練り味噌、肉じゃが、おでん、煮豚等を作る際に砂糖の代わりに使用するのだが、やわらかな甘さが他の食材や調味料の旨みを引き出すような気がして愛用している。種類はいろいろあるが、ミニティアムかアンバー等雑味の有る物の方が醤油味の調理には合うのではと思う。ただ、メープル・シロップについては、スーパー・マーケットではなく、ファーマーズ・マーケットの方が種類や値段の面で勝っているのはいうまでもない。我が冷蔵庫の中の一リットル瓶の中身もあとわずか。次の週末にはファーマーズ・マーケットに向かかねば。



KONICA MINOLTA

## Superior Images in More Situations Than Ever

Introducing the new flagship model of the DiMAGE series - the DiMAGE A2.

For ultra-high 8 megapixel still shots or high-quality movies. With clear, natural colours from superior optics and exclusive image processing.  
Plus many innovative features for unparalleled performance.  
Anti-Shake, in particular, delivery far better results with handheld shooting, in dim lighting, at telephoto zoom, and more.  
The Super Fine EVF sets a new level in clarity for electronic viewfinders.  
And 3D AF provides a fast accurate way to keep moving subjects in focus.  
All in a dynamic package with a built-in 7x zoom lens, which keeps your camera bag small and your shooting options big.



# DiMAGE A2

The essentials of imaging

[www.konicaminolta.ca](http://www.konicaminolta.ca)

# 不老長寿の薬を探して

その二十五

## 生体エネルギー

(オーラ)

後藤順子



五月のある日、朝の通勤電車の中でいつもなら寝ているのに、その日は何故か頭がすつきりして、窓から差し込む朝日の中で自分の手を見ていると親指と人指し指の間に白い霧の幕が見えた。

よく見ると手が大きめの白いオーラガンジーの手袋の中にすっぽり入っているように見えた。太陽に向かって、ゆっくり手のひらを伸ばすと、十本の指先からキラキラ光る白い光がまつすく伸びて、まるでサーチライトが指の先端から出ているみたい。とても綺麗なものでうつと見ていると、暖かなエネルギーが私を包みこんでくれている様な幸福を感じました。これは、私が見た初のオーラ体験です。

まだ現代科学では説明されていない事でも、大切な事がたくさんあって、知っていたほうが人生をより深く楽しめるのではと思ひ、勇気をもって、ここに紹介します。

### オーラとは何

オーラとは、人間界を含めたあらゆる生物界に存在する「微弱な電磁エネルギー」と言われています。バーバラ・ブレナン著「光の手」によると「人間のオーラは我々の生命に深く関わっている宇宙エネルギーの具体化したものである。それは物質的な肉体を取り囲んで浸透する発光体と説明できる。特有のエネルギーを放出し、一般的にはオーラと呼ばれ、オーラは宇宙エネルギーが人間の肉体に結合している部分である。普通、人体から数センチから、一米トール位を取り巻く光のベールである」と説明しています。

歴史を通して、人類は身体の周りに集まるエネルギーをオーラとして観察しています。宗教画では、キリストの頭の周囲に集まるエネルギーを「光の輪」として描き、釈迦も同じように「光の輪」をもつて描かれています。ヒンズー教ではプラナと呼び、中国では氣として知られ、中国伝統医学では、「氣」の概念なしには成り立たない程、大切ですが、現代人は便利な文明生活に慣れすぎたために、人間が本来持っていた自然への順応性すなわち気の感性が失われのではないかと思われま

### オーラの構造

オーラには、少なくとも四層あり、

肉体にもっとも近いものから順に、エーテル体層、アストラル体層、メンタル体層、コーザル体層と、蘭玉のように体を守っています。又、頭の外側には大脳皮質から伸びた外の見えない脳、アンタカラナと呼ばれる潜在意識が角のように上へ伸びている。肉体の脳の記憶容量は十の十乗ビットですが、エーテル体では十の六十一乗ビットで、アトラル体、メンタル体では常識では想像出来ない位の大容量であるだけでなく、情報処理の速度も大型コンピュータの比較に成らない程、高速である。肉体としての脳がエーテル体につながると第六感、ひらめきがよくなり、アトラル体につながるとテレパシーや透視、予知等の超能力が可能になり、メンタル体やコーザル体につながると、もっと高いバイブレーションに感応し、神とのコンタクトも可能になる。しかし、大半の凡人では、物質的なものばかりを追求して生きていくために、アンタカラナがなくなったり詰まったりして、エーテル体が貯蔵している情報が、目に見える脳に伝わらず、ひらめきや第六感さえも乏しくなっているのが現状である。と関英夫著の「高次元科学」に書いています。

「悟りを開く」とはアンタカラナがエーテル体につながったことであり、簡単に例えて言えば、処理能力ならびに記憶容量に限りのある単体のパソコン

が、スーパーコンピューターを備えた宇宙ネットワークへインターネットを介して接続されたようなとも言えます。



アンタカラナの発達は、人の心掛けた次第で、あまり慾深く、緊張するとだめになり、無欲になり、リラックスするとその働きは増える。また、人間が死ぬと、この四層構造のうち、肉体に近いエーテル体は、肉体とともに消えてしまい、次の層であるメンタル体とアトラル体は霊となり、霊界へ行きそこで次にやるべきことが決められる。ほとんどは、再び新しい肉体に宿ることになり、これがアトラル体とメンタル体の修行であり、何千回も生まれ変わりを繰り返すといわれています。死後の世界を信じない人や物質に執着している人は死んでも霊界に行くことができません、さまよい幽霊になるそうです。さらに、さまよう事は霊にとつては不安定なので、波長の合う人にとりつく(憑依)現象になるそうです。憑依された人は四層構造にゆがみが出て、これが

肉体に現象として現れたのが病気で、このゆがみを治さなければ病気は治らなと同氏は言明しています。

### オーラと病気の関係

中国伝統医学ではオーラの事を「氣」といいますが、氣の不足や滞滯等により病気が発症すると考えますので、鍼灸や漢方薬やマツサージ、氣功等の方法で氣のバランスを正常にする、体は自分の治癒力で治ると考えます。体には十二の経絡が縦横に巡り内臓とつながり、つぼがその、それぞれの経絡上にあります。氣はその経絡中を流れていると考えられます。実際に病理解剖しても経絡も氣も目には見えませんが、氣を体感することは出来るようになります。患者さんの体に鍼をしていると、ゆつくり悪い氣が体からゆらゆら出ているのを目撃する事もあります。又、患者さんの悪い氣が自分に移る可能性があるのです、自分自身を擁護する目的で、治療する側の氣を強く鍛えなさいと氣功や鍼の先生からよく言われています。

### オーラを肉眼で見るとは

キルリアン写真をとれば、だれでも自分や他人のオーラを見る事ができますが、肉眼でみるためには、氣をたくさん取り入れる事が必要だそうです。オーラが見えるということは、氣の光に

自分の目が反応するという事で、氣を沢山とり入れると、網膜に氣で構成されたもう一枚の網膜が出来て、そこで氣が発光するために起こる現象と推測されています。オーラは、病気とか性格の診断に役に立ち、オーラの形や色によつて、その人の現在の状態がわかるそうです。白色は良い氣で、黒とか赤は病的で、青や緑は癒し系です。形は歪んだものは病的です。正に病氣とは氣が病むという意味ですので、氣を治せば病も治るのです。しかし、化学合成の薬では氣は治せないのです。かえつて氣のバランスを乱すので、代替医療の併用も取り入れて、慢性の病氣には、出来るだけ薬の長期の服用は避けるべきです。



### 私のオーラ体験

私が初めてオーラを意識したのは今年の三月、母の痴呆の治療に何か役立てば思い参加したグループブチャネリングの時でした。オーラが見えるというチャネラーの助手をしていた女性が「あ

なたのオーラエネルギーはとても大きくて、人を癒します。」と自分の事は全然聞いていなかったのに言ってくれました。それから一ヶ月ほど後、たまたま学校の展示を手伝いに行ったヘルス・ショーでキルリアン写真を取ってもらいました。その結果は言われた事と同じだったのでもちよつと驚きました。さらに一ヶ月後には、冒頭でも紹介したように、手の氣が見えるようになり、普段でも手を体に近づけると暖かくて、ピリピリする感じが段々強くなってきたようにも思います。

私の日常生活にも変化が見られるようになりました。以前はいつも会うけど名前がなかなか思い出せなかった仕事先の人たちとも、最近是他のカナダ人と同じように自分から相手の名前を言つてから挨拶が出来るようになりました。私の印象もシャイからフレンドリー変わったのは、エーテル体とつながって記憶容量が増えたのでしょうか。又仕事処理のスピードも上がったように思います。疲れた生徒が多い学校の診療所でも一番元氣そうなので、面倒な患者さんの治療を割り当てられ、鍼やマツサージをしてあげると症状が軽くなつたと喜ばれる事が多くなりました。これらの、好転現象は氣功と太極拳を始めて約一年が経過して氣の貯金が増えてきたためと推測しています。ここに私の心の支えともなっている老

子の詩を紹介します。

### 第三十三 「自分」のなかの富

世間の知識だけが絶対じゃないんだ。他人や社会を知ることなんて薄暗い知識にすぎない  
自分を知ることこそほんとうの明るい叡智なんだ。

他人に勝つには  
力づくですむけど  
自分に勝つには  
柔らかな強さが要る。

頭張り屋は外に向かつてふんばつて  
富や名声を取ろうとするがね。  
道につながる人は、  
いまの自分に満足する、そして  
それを本当の富とするのだ。

その時、君のセンターにあるのは  
天才の普遍的エナジーであり、  
このセンターの意識は、永遠に伝わって  
ゆく。  
それは君の肉体が死んでも  
滅びないものなのだ。

### 加島祥造著「夕才老子」より

私の体験が、悩みの尽きないどなたか  
のお役に立てば幸いです。

□隅田川を渡って吉原へ

突然、「そっだ、はとバスに乗ってみよう!」と思立った。

私のような東京育ちの人間は、今さら、東京案内をして貰ったって面白くも可笑しくもないと思込んでいたが、ある日友人が「はとバスで芸者遊びを経験して来た」と報告してくれて「あなたも行ってみたら?」とパンフレットをくれたので、早速芸者遊びコースを申し込んでみた。

集合場所の東京駅に夜の八時に行ってみると、待合室は他のコースの人たちもいて満員。アナウンスが次々呼び出している。

「夜のキャバレー巡りのバスが出ますので申し込んだ方は一番バスに乗って下さい」「花魁道中見学の方は二番バスです」。その次が私たちだった。さてバスに乗り込むとすぐ「下町方面向島に向かっております。今渡っているのは隅田川、あちらに見える美しい橋は話題のレインボーブリッジで約九百メートルあります」等々途中の夜景の説明。でもバスの中にいる人たちは全員江戸っ子なのかくくに見ようとしてもしない。ガイドさんは必死で駒形橋の上で又、吉原の高尾太夫が「主は今駒形あたりほととき

す」と愛人を詠んで横恋慕されていた殿様から首をはねられた話をしてくれる。

三十分くらいで「さくら茶屋」というお茶屋に着く。若い衆さんと呼ばれる下足番(実際は年寄

東・京・裏・通・信

はとバスに乗ってみた!



尼子三矢子



り)が「エイ、イラッシャイ。お早にお着きで」と下足札を渡してくれ。つるつるに磨き込まれた廊下を突き当たって二階に案内される。別に号令を掛ける人もいないので座った順に前に置いてあるお

酒、またはビールを勝手に飲んでる。舞台付きの大広間だ。いわゆる二の膳付きという昔ながらの方程式のような料理が並んでいる。冷めてもまずくならないような物(酔の物、煮浸し、しんじょ、なめた等々)が一の膳、私たちが座ってから熱い澄まし汁とさくらご飯が運ばれてきて、なかなか美味しかった。

舞台の上では三味線と太鼓で「都々逸」を唄っている芸者さんがいるし、側でお酒をついでくれる芸者さんもお話上手で華やかだ。私の所に来てくれたのはまだ若い「小奴」というひとで、明日は向島のお祭りなので御輿を担ぐと嬉しそうに話してくれた。お酒を飲んでいるうちに舞台では野球拳が始まり、男性客がきれいどころに引つ張り出されてテレながら踊っている。白塗りで日本髪、季節感のある美しい着物と帯など、つい見とれてしまう芸者さんが二、三人に一人づつ付いてくれて一万八千円。丁度程良く酔ったところで時間が増えて華やいとお姐さんたちも玄関まで全員見送りに出てくれる。何となく大旦那気分になったつもりで、また隅田川を渡って帰ってきた。

□夜の新宿キャバレーツアー

次に経験したのは「豪華絢爛キャバレーの夜」。例によって八時に東京駅集合で、何台かのバスが次々「ニューハーショー」とか「お台場インポートショッピング」とかの行き先表示板を掲げて出ていった後、やつと我々がマイクで呼び出される。定員四十名、行く先は新宿で到着まで三十分かかるので軽食(サンドイッチとコーヒ)が出る。カツサンドが結構美味しかった。

新宿コマ劇場の近くの映画外の中にあるキャバレーに着く。集まった人たちは男性より女性の方が多いので、ガイドさんに「いつもこんなに女の人が多いの?」と聞いてみると「ハイ大体どのツアーも女性が多いです。例えば今日だと女の方は一人でキャバレーに行く訳にはいかなないのでご利用下さるのではないですか」。ああ成る程。

何組かに分けられてエレベーターに乗って四階に着くと、ロココ調の彫刻の壁や花がワツと目に入ってきた。真ん中のフロアを囲んでソファと丸テーブルがあり、キャンドルが点っている。すでにフィリピンバンドがラテンを演奏していて、

リーダーが私たちに「リクエストはどうぞ」とマイクで云う。ジャンルは何でも演奏するらしく誰かが昔の古い曲をリクエストしても何とかこなしている。

お酒の注文書が各テーブルに一枚ずつ置いてあって、三十種類くらいのカクテルやドリンクが印刷されている。飲みたい物に○を点けておくとやがてボーイが、ピナツ、くんせい、オリーブ、クラツカー、チーズ等の盛り合わせの皿と共に「カンバリソーダの方は？」とか「ギムレットの方は？」とか聞いておいて置いていくてくれる。私たちが四人のテーブルには一人の女の子が付いてくれたが、男性が多いテーブルには二人の所もある。胸を大きく明けた薄物のドレスを着て、誰かが煙草をくわえると彼女は電光石火の勢いで胸の谷間からライターを取り出して点けてくれる。早くも踊っている人たちもいる。

他のテーブルのホステスは何か可笑しいのかもうつかり客と馴染んで大笑いをしていたりするのにな、私たちに付いた人はとても大人しい。そこでついインタビュースタレーターになるための専門学校を出たのだが、アニメマンガの

給料だけでは足りないの、アルバイトに週三回ホステスをしてもらうぞうだ。

そうこうしているうちにショーの時間が来た。普通キャバレーのショーは八時と十時と十二時で、私たちはその十時のショーを観るためにここにいらしている。

ショーの内容はマドロスと港の女のダンスだったり、花魁と若旦那の恋だったり、あまり関連性のない踊りと音楽が華やかに続いて、最後は景気よくフレンチカンの十二人の踊り子がお尻をまわって終りだった。

飲み物はお代わりが出来てはとバス本日の総額は一万五百円。先程のホステスに聞いたら、八月と二月はお客が極端に少ないので、ほとバス会社と提携して私たちのような者を募集するらしい。そう云えば店内に入った時は広大なスペースに五組位お客がいただけだった。我々四十人がワッと入って行かなかつたらあの店は淋しかったろうと思う。エレベーターの前までガイドさんが迎えに来てくれたので立ち話をしたら、彼女の次の仕事は「夜の東京シティ競馬場」だそう。おお、それにも是非行かねば。



## SILENT INSTRUMENTS

Imagine...you want to play an instrument but it will disturb others as the sound will transfer through the walls to a neighbouring condo, apartment or the baby's room. Yamaha, a maker of musical instruments since 1887 recognized the situation and designed the "Silent Instruments" using years of experience and innovative ideas.

**SilentBRASS** mutes the sound so very little can be heard. The player listens through earphones. Trumpet, flugelhorn, trombone, French horn, euphonium or tuba.

**Silent guitar** available in a steel or nylon stringed instrument. No sound chamber so you listen through headphones or a guitar amp.

**Silent Strings** include violin, viola, cello and bass.

**DSXTreme** electric drums - play them loud or soft.

**Clavinova** digital pianos can be played with headphones for your own private performance, day or night.

[www.yamaha.ca](http://www.yamaha.ca)

感動 **YAMAHA**  
CREATING 'KANDO' TOGETHER

# ロツソーレイクカレッジで 一年間日本文化を教える

高橋直之



私は現在、オンタリオ州の「ロツソー」にある中高一貫の学校で、『インターン』をしている。

ロツソーはトロントから車で北へ約三時間の所にある。鏡で自分の上半身を見て頂きたい。カナダの中心トロントが「おへそ」としたら、「左側の乳首(西)」がバリーサウンド、「右側の乳首(東)」がハンツビルにあたる。ちよつと榮えている左右の乳首のちよつと真ん中辺りの「何も無い所」がロツソーだ。もし胸毛があるのなら、それは「森林」であり、固い骨が確認できるのなら、それは「カナディアンシールド」である。ちよつと窪んでいるのなら、それは「湖」だ。大きく深呼吸をして胸がスーッとする辺りが、森林・カナディアン

シールド・湖に囲まれた空気のおいしい『モスコカ地方』である。

インターンとは無給の研修生の中で、学校でいえば、アシスタントティーチャー(教育実習生)ということになる。私は海外インターン派遣団体を通して、昨年九月から本年六月まで、日本の文化をカナダの子供たちに教える機会を得た。この団体の趣旨は、海外の学校でインターンとして日本の文化を教えるかわりに、自分はその国で語学を学ぼうというものである。

海外インターン派遣団体に登録したものの、肝心の受け入れ先が決まらなければ、どうしようもない。そんなある日、私を受け入れてもよいとの返事をくれた学校

があった。それが現在、私が研修させてもらっている『ロツソー・レイク・カレッジ』である。

ロツソー・レイク・カレッジはグレード七から十二までの全校生徒、約百五十人の小さな学校である。そのうち約百人が学校の寮で共同生活をし、残りの約五十人がデイスチューデントとして近隣から通っている。ロツソー・レイク・カレッジは世界中から生徒を募集しているので、カナダ人、メキシコ人、イギリス人、ドイツ人、ロシア人、中国人、台湾人、韓国人、そして日本人の生徒が同じ教室で勉強をしている。

私はこの学校で、アシスタントティーチャーとして、寮のスーパーバイザーとして、日本の文化を紹介する親善大使として、存在している。

アシスタントティーチャーとして私はグレード七と八の「アート」、グレード十一と十二の「アウトドリアエデュケーション」、それに、英語を第二言語とする生徒のための「ESL (English as a Second Language)」のアシスタントをしている。

アートのクラスでは、折り紙や書道などの授業を数回持たせてもらった。折り紙の折り方や筆の持ち方がわからないにしても、カナダの生徒の方が日本の生徒より不器用な感じを受ける。他のプロジェクトを見てもその差は歴然である。アートの先生に日本の美術の教科書を見せてあげたところ、そのレベルの高さに驚いていた。

アシスタントだけではなく、時には生徒と一緒に作品を作ることもある。ハローウィンのジャック・オー・ランタン、イースターのときについた折り紙のウサギ、画用紙に折り紙を貼って作ったイースターエッグなどは、私にとつて日本とは違う文化を知るための、とてもよい経験となった。

そして、このアートのクラスは、もともと絵を描くことやモノを作るのが好きな私にとつて、英語漬けの生活の中で、何よりの気分転換になつている。

寮のスーパーバイザーとして

ロツソー・レイク・カレッジには三つの男子寮と四つの女子寮がある。私は「ブロック・ハウス」とい



う男子寮に生徒と一緒に住んでいる。そして、週二回、「ブリックス」、「クラークソン・ハウス」という二つの男子寮で『ドゥティ(寮監)』をしている。

ドゥティは各先生が毎日、交替で受け持っている。その仕事は、朝八時半に生徒の部屋がきれいかどうかチェックすることから始まる。また、夜の個別学習を監視するのも一つの仕事である。この学校は、土曜日以外の毎晩七時から九時まで個別学習の

時間を設けている。人間、自分一人ではなかなか勉強時間は取れないもの。この一日二時間学習するという習慣はとても大きい。寮生活だからできるよい狭であり、勉強の積み重ねが、この学校の大学進学率へ反映されているのであろう。

寮には、やはり門限がある。門限は、グレード七と八は「九時半」、グレード九と十は「十時」、グレード十一と十二は「十時半」までである。といつても、生徒は三分で戻って来られる学校の敷地内にいるので、大幅に遅れてくることはない。もし遅れたら、罰として一分につき十回の腕立て伏

せをしなければならぬ。私もなぜか生徒が遅れる度に、一緒になつて腕立て伏せをやつてくる。さすがに、五分以上遅れてきたときは、腕がパンパンになつてしまふ。

就寝時間は、グレード七と八は「十時」、グレード九と十は「十時半」、グレード十一と十二は「十一時」である。これを確認し、寮の消灯・施錠をすると、やつと一日が終わる。

ドゥティの日は一日のほとんど自由時間が奪われてしまうが、なにより生徒の宿題を手伝つたり、ホッケーの試合や映画を一緒に見たり、ときにはプロレス(つこ

をしたりと、彼らの日常の顔が見られるので、私は週二回のドゥティを楽しみにしている。

日本の文化を紹介する親善大使として

私は生徒が毎日三食、食事をするダイニングホールにある一番目立つ掲示板に月に一回の割合で、日本のことを紹介している。

これまで、「柔道」、「着物」、「日本語のあいさつ」、「賽銭箱」、「干支」、「さつぼろ雪まつり」などを取り上げた。日本語のあいさつを掲示したときは、教室中に「こんにちは」が飛び交った。賽銭箱のときはベニーやニッケルが予想以上に貯まり、ちよつとした小金持ちになつた。干支のときはお互い何年生まれか聞くのが流行つた。毎回、私の作品を楽しみにしてくれている生徒もいるので、大変作りがいがある。

残すところ、私がこの学校にいるのも一カ月を切つた。これまでマンスリーだった日本の紹介をウィークリー、いやデイリーで掲示するつもりで、邁進していきたい。

写真説明

- 段ボール箱で作った賽銭箱
- ロッソーの生徒たち





スズキユウ

コンテンツの  
クォリティーの問題

日本のテレビを見なくなって感じたこと

最近、といつてもこの一年ほど、日本に帰国をしてきてからテレビをほとんど観ない。それよりもパソコンの画面を見ている時間が長くなっている。というのもテレビ番組がつまらないからである。

個人によつてどんな番組を好むかは趣味の違いもあって千差万別かもしれないが、しかし、一言で言つて、日本のテレビ番組はほくにとつて非常につまらないのである。なぜか？ 面白いと思える番組がほとんどないからだ。全部とはいわ

いけれども、日本のテレビはなんだか、どの番組も同じような人物が出てきて、同じようなことを言い、まるで、どこかの居酒屋に集まった人々が、身内でわいわいとやつてゐるのをただぼんやりと見つめてゐるだけのような気がするのである。

しかもそれが、ひとつふたつのチャンネルだけではない、ほぼすべてのチャンネルが同じようなことをやつてゐるのである。これではいくらチャンネルがあつても、かわり映えもしないし、独自性もなく面白くないのである。

いつから日本のテレビ局は大量に同じような物を生産するようになってしまったのであろうか？ 報道という観念はあるにしてもテレビも、営利目的の上に成り立っている。彼らは大勢の人に観てもらえるような番組を作る。それはときに芸術的だったり、教養的だったりもする。しかし番組を作るには金銭的にバックアップしてくれる人が必要だ。スポンサーはテレビ局にとつて大事な『お客様』である。スポンサーがいなければお金は出てこないし、番組は作れない。だから彼らはスポンサーの好みの番組、すなわち「視聴率の高い」番組を作ろうとする。

多くの視聴者がいれば、それだ

けスポンサーの商品やメッセージが多くの人たちに宣伝できるからである。そこまではわかる。彼らとてポラントピアで商売をしているわけではないのだから。

しかしである。本当に今の日本のテレビ局はこれでいいのだろうかと思う。別にほくがいやならば、テレビを観ないで済むこともかもしれない。でも、はつきり言つて、日本のテレビ局はこのままで行けば、数十年後にはその存在理由が危ぶまれるかもしれない。

IT革命などという言葉が言われるようになってすでに数年経つ。世の中に『インターネット』『モバイル』などという言葉もごく自然のよう目にし、聞くことが多くなつた。普段何気なく生活をしてゐると、気がつかないことが多いが、しかしこの十年で人間の行動はそれがプライベート、商的行為にかかわらず劇的に変化をしている。身の回りをよく観察してみればわかる。十数年前、誰もこれほどまでに携帯電話を生活の一部として取り入れてはいなかった。インターネットの世界で、買い物をするというものも少なかった。今日見た事をすぐさまその場で撮影し、メモをつけて地球の反対側にいる友人に知らせるということもなかった。これらはすべ

てコンピューターやそれを使用する環境が劇的に整つてきたおかげである。

それはマスコミの世界でも同じことである。海外にいながらにして、コンピューターの電源を入れて、ひとたびインターネットに接続すれば、瞬時にいま日本で何が起つてゐるのかがわかるようになった。また日本にいながらにして、海外の情報を時には映像付で見ることができるようになった。個人がこれだけ多くの情報を簡単に手に入れられるようになったのは昔に比べれば夢の世界に近いものがある。

いままで、我々がひとつの、あるいは複数の情報(たとえそれが娯楽でも営利目的のものでも)を手に入れようとすると、手間と時間がかつた。まして海外の情報ともなると、多くの努力を必要とした。たとえば、テレビでどこかの国の紹介番組を見たとき。テレビではその現地での生活や様子が、こと細かく紹介され、我々はその情報を知ることができた。でも、世の中誰もが簡単に、海外の紹介番組程度の情報を手に入れられるようになる、テレビの番組で流れる映像を見ただけでは新鮮味もなくなつてしまふ。ましてテレビはあくまで一方的に情報を発信するだけだが、ネット上では双方向に情報が流れる。



これからもっと高速のネット環境が整えば、映像などのコンテンツをもっと簡単に配信できるようになるだろう。そうすれば、我々ももっと簡単に、それも時間や場所といった制約から解放をされて、自分のペース(速度)で情報を使うことができる。情報と云って、何か堅苦しいものばかりを考えてしまうかもしれないけれども何も仕事や勉強での資料探しということだけではない。

娯楽というコンテンツのあり方も変わってくる。たとえばテレビや映画などの娯楽番組を作りたいと思つたとき、今まではその技術や資金のあるテレビ局や映画制作会社しかそれらを作ることができなかった。しかし、個人レベルでも専門家のレベルの技術を気軽に扱えるようになる、企業、あるいは個人が質の高い娯楽を供給することができるようになる。もし、この新しいコミニケーションの世界が成功をすれば、視聴者である人々は、テレビよりも自由度が高く、質がよく、かつ選択の幅が広いものに興味をしめし、いままでテレビに使っていた時間をより多くコンピュータ画面に費やすようになる。するとどうなるだろう? テレビというその存在意識が人々の生活環境の中から次第に薄れていくことになる。多くの視聴者がみないものにスポンサーは

資金提供をするだろうか?

ここまで書いてくると、ネットというものの世界が非常に優秀でかつテレビに変わるものという風に受け止められるかもしれないが、しかし、このネットの世界が健全にそして有意義に広まってくつたためには、ひとつの条件が出てくる。それはそこで流れるコンテンツのクオリティの問題だ。

もし、ネットの存在価値をテレビ局が今まで以上に認識し、この世界に参入を図ろうとしたとき、もし彼らが今やっていることと同じことをネット上でやろうとした場合、はつきり言つてそれは無意味な結果しか生み出さない。味の悪くなったレストランが心機一転、新しく店内を改装したところで、同じくまずい料理を出したのでは、客はやつてこないのである。そればかりかまずい料理ばかりを出す店がネット上に多く存在するようになり、客である視聴者とそのまずい料理を「これが普通の味なのだ」と認識するまでに「汚染」してしまったとしたら、ネット世界は完全に周囲から取り残されるだけではなく、まったく機能しないものになってしまうだろう。ネットの世界では国境という観念がない。

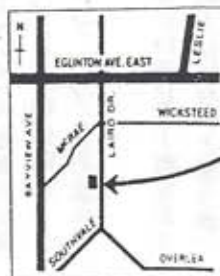
今ではひとたび流せば、通信す

ることが可能なところでは見ることができ、聞くこともできる。つまり我々の周辺の環境は、どこにいても自分の好きなものが好きなときに手に入れることができるという状態に近づいているのである。これから先、この新しい世界がどのように変化していくのかは誰にもわからない。

## 新司・割烹みかど

- お子様メニューもごございます。
- お寿司その他デリバリー致します。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 梶田佳一  
114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO  
PHONE: 421-6016 LICENCED  
日曜日もオープン(月曜休業)



夢広がる人と人とのコミュニケーション

# タウンページ

タウンページの  
広告掲載に関するお問い合わせは  
Unitech Trading まで...

リスト掲載/広告掲載のお申し込みは本書119ページをご利用下さい。  
105 McCaul St., Suite 505, Toronto, Ontario, Canada M5T 2X4  
e-mail: unitech-trading@rogers.com  
Tel/Fax: 416-599-3791

言わ  
せて  
ヨ!

また松井



松ちゃんとカズオ君

杉本花粉

松井がメジャーにやつて来た。何でよりにもよつて、松井なんだ！と言いたいが、私の力では松本にもましてや杉本にも出来ない。松井というのとは仕方がないが、松井というのは先の松井もいるし、まぎらわしい。アメリカ、カナダではカズ・マツイで通っている。カズとこう書くとなウいこの言い回しは古いらしいが、稼頭央となると、ちよつと見た目は相当タサイ。稼ぎ頭が真ん中で取り仕切っているみたいなので、付けた人は将来稼ぎ頭になつて取り仕切つて貰いたくつて、先手を打つて名前を付けたのだろう。ウツ、くだらないことをくどくど書いていたら、私の頭が先

に進まなくなつて疲れてきた。肩は凝っているが、姓名判断には凝っていないので、命名稼頭央の件はこれで打ち切る。

Other Matsui とか Little Matsui とか言つて世間では小騒いでいるようだが、松井カズオは松井秀喜（この喜という字、いい字面ね。）のコピーでもなければ弟分でもないし、小さくもない。実にちゃんとした野球人である。顔だつてタブツとした涙袋がかわいい。松ちゃんかこれでもかとキュツと引き締める口元、このレフトフライを捕つてアウトにしたら勝ちという場面でも

二ユー・スネタのことを考えて、ポトンと落としてしまふところなど、危なげで放つておけないだろう演出もかもし出し、すごい大物である。失敗を出した日のインタビューにも絶対目など泳がせないし、コメントに詰まることもない。実に堂々とした風格・風体の持ち主である。新人のカズオ君にはそれが見られない。

二ユー・ヨーク・メッツ松井カズオのメジャーデビュー戦は四月六日アトランタ・ブレーブスとの試合である。

この華々しいデビュー戦をまさか知らない人はいないと思うが、それはまるで仕組まれた筋書き通りのステージのようであつた。初打席の初球、ラス・オルテーズの内角の球に何気なく喰らいつき、観客もテレビの前の私まで、あつと驚くホームラン。山のものとも海のものとも分からぬ東洋人なんかには、と甘く見ていたラス・オルテーズ、呆気にとられ、ボールの行方を追つていた。おいら（言つていないって！）の初球を易々と打ちやがつて覚えておけよ新入り！と歯ざしりしたはずだ。だが、この歯ざしりも一回や二回では済まされなかつた。

ズオ君がこんなに打てる人だとは思つていなかったのだ。日本での松井稼頭央を一切知らない。この球団にいて、どこのポジションにいたのか、好きな女のタイプは年増で小太りなのかなんなのか全然うわさも入つてこなかつた人である。そこが松ちゃんとは違うのだ。松ちゃんと私のつながりは一方的というところが悲しいが、彼が高校生の時からの付き合ひなのだ。

シーズン前のオープン戦では、指の負傷後復帰し、打率三割選手だつたのにもかかわらず、メッツ監督（ヤンkeesのトリー監督に酷似）は、本番ではどうせまあ打率一割台がせいせいだろうと見くびつて予想していたらしい。メジャーリーグは日本などとはケタが違うんだぞ、ちよつと来てバンバン打てるわけないだろうが、と目算していたのだろう。これもまたごめんなさい。

男一匹、体ひとつで言葉も環境も違う所へ乗り込んでくるからには、そんなじよそこの柔なやつとは違ふのだ。

松ちゃんもカズオ君も一旗揚げに来たのだから根性だけはあるはずだ。根性皆無はうちの娘ぐらいなもんでしょ。同じスポーツをやっているのに、負けても何ら悔しい

## 温泉近況報告

今、ワシントン州

シーニック温泉の再開

に着手

マイク佐藤さん

オンタリオのビジネスを整理して、ライフワークのカナダの温泉開発のためにBC州に移ったマイク佐藤さん。

以前本誌にも時々、古い鉱山地図や土地の古老の話を頼りに、温泉を探す苦労と発見した時の喜び、そしてその湯に試浴したときの醍醐味について、エッセイ「マイク佐藤のいい湯だな」の連載で、私たちに披露して下さいました。

私たちも、誌上から、佐藤さんと一緒に、バンクーバー島西岸のトフィンノから船または小型機で行く、太平洋の波しぶきを浴びながら入る海の温泉、カナディアン・ロッキーの隠れ湯など、カナダの秘境の秘湯巡りを楽しみました。

さて、今、佐藤さんは、ウエストコーストへ移ってから、三番目の温

泉を手がけています。最初はベン

ブロークから一時間ほど奥へ入ったミーガークリーク、そこはBC州の州立公園内でリクリエーショ

ンサイトで、いわゆる温泉場は作れないので、次に開発したのが、バンクーバーからウイスラーに行く途中のスカーマッシュに近いマウン・ト・ケーリー温泉です。ここはカナダで最も若い火山地帯で、ホットスプリングが五つあります。佐藤さんはテスト・ボーリングに成功、現在、本格的な開発を申請中で、す。ゾーニングについて先住民との話し合いさえ解決すれば、後は公聴会を待つのみと言うことです。バンクーバーから近いので、アクセスが楽で、ツアールートにも組み込める、との事です。



そこへ話が出てきたのが、ワシントン州のシーニック(Si-nick)温泉です。シーニックはシアトルから州都スポケーンに向かうUSハイウェイ12を一時間ほどいったところにある一九二八年からオープンしている古い温泉です。オーナーが長く不在していた時、ワイルドパーティイなどで、温泉場がかなり荒れたため、二、三年前に郡が閉鎖をしてしまいました。その温泉を譲り受け、再開するそうです。サイトで見ると、山際にあり、深山の温泉という感じです。

ゆつくり温泉に浸かって、リラックスタイム、というのは、私たち日本人の夢です。カナダで「いい湯」を楽しめるのは、いつのことでしょうか。

と感ぜず、次は死ぬほど頑張つてメダルの一つも取つてやろうなどと、ほとんど思わない。根性が無い。今まで払った月謝返せ!!!

松ちゃんとカズオ君の爪の垢でも煎じて飲ませてやりたい。今度トロント・スカイドームに来たら、私にボールを放り投げて欲しい。そのボールには爪の垢の端くれくらいは付いてくるだろう。ついでにサインなどあればもつといいのだが。

さて、カズオ君のメジャーデビューは、センターへの大ホームランから幕は切つて落とされ、二本の二塁打、二階のフルカウント・フォアボールで出塁、そのうちの一回は敬遠されたのである。もつと彼の打つ姿を見たかったのに、敬遠というのには良いような悪いようなである。

あんなに打てたカズオ君、一帯どうしてなのだろうと考えた。去年トロントでデビューした松ちゃんだつてこうはいかなかった。

それはチューインガムである。目障りなくらいしこかれ噛み砕かれていたガム。試合中最後までくちやくちやされていたガム。勝利を導いたガム。どこのメーカーのものだったのか、知るよしもないが、近頃のマリナーズのイチローにも届けてやつてほしい。

## ネコの散歩 特訓

森貞一弘



【心機一転して】

日常会話の中で「ペットがいるので、どうしても……なんて言う人がかなり居る。そういう説も、それなりに正論なのだが……そう言ってしまうと、これから愛犬家、愛猫家になろう」なんて夢を持っている人に申し訳ない。

夏が近づいてくると、結構、鼻が慣れているにもかかわらず、嫌な匂いで我慢できなくなる。新築の頃は、ロッキートのレック・ルイスのような色のカーベツトだったのだが、しみだらけで、（あの橙とか黄緑の混じった）陸軍服みたいになつてしまった。もうステイム・クリナーを掛ける元気さえなくなつてしまったので、一層のこと、全部、板間にした。（ちなみに、こうなつたのは、犬と猫のせいだけではないのだが……）

はてさて、主な汚染原因の桃子（犬）だが、何故か、最近、かしくなつてきた。食事制限によつて体重が割以上身軽になつたせいかも知れないが、とにかく言うことをよく聞くようになった。（もう四歳だからね、そろそろ目覚めてもいい頃でしょ？）何よりもありがたいのは、家の中でお漏らししなくなつた。ひよつとして、カーベツトというのは、芝

生と同じような感触なのだろうか？ 面白いえば、桃子の実家は板張りの豪邸だったな。

今のところ、無害の武蔵（猫）も、割と板間を気に入っているようだ。冷たい肌触りも、気持ちいいのだろうか、何よりも、鈴付のおもちやが転がるスピードが上がつたことで、ますます興奮できるところになつたのだろう。

【猫の散歩】

「どうも猫というのは、スキンシップが物足りなくて……というのが愛犬愛猫両方派になつてからも、ひしひしと感じ続けていた。



「いんや、うちは猫も犬も極力、平等にあつかうのだ……と決めていたので、もつとも犬らしい猫にするために、春先から「散歩の訓練」をはじめた。写真を見て頂ければ明らかなのだが、三人がかりで苦戦である。（多分、こういう写真は、もう撮れないだろう。）

先頭の一人は、お気に入りの「ねじやら」を、プラプラさせ、「武蔵、武蔵、」とお経のように唱えながら、前方への集中力を促している。（見てのとおり、全然、気にしていない。はつきり言つて興味ないみたいだね。）

二人目は、肝心な手綱を扱う役だ。犬とちがつて、襟がけにして、まさしく巖流島の戦いの武蔵を思い出させる光景なのだが、これも、はつきり言つて喜んでいないようだ。自由を奪われるのが嫌なのだろう。地面に爪を立てても、抵抗する。「くそお、あのベツト・シヨツブめえ、誰や、猫も、散歩できますよ。これと、これ買つて……と二十ドルほど、騙されたようなもんや。クリスマスあたりで、誰でも、必要ないもの、買つてしまふからな。

最後に三人目、一番うしろから、付いて行き、「はよお、行きや」と半ば強制する役である。どうやら、猫は、この一番最後から、付いて来る人物が、最も気になつてくるようだ。（ちなみに、この役は歩くのが遅い義母が担当していたので、猫が、気を使つたとも考えられるのだが……憶測の域を出ない。）

朝晩の挨拶、出迎えと愛想のいい猫なのだが、どうも、散歩となると、落ち着かないようだ。それから、何回も、練習したのだが、結局、だつこして歩かなければならない。（スキンシップが嫌いなのだが、女性に抱っこされるのは喜



思春期のころだろう。最近、朝、裏庭から、どこかへ一匹散歩しに出掛けて、夕方になると、表玄関の外で「ニヤニヤ」と啼いていて「つまり「たたいま」ってことなんだろう……戻ってくる。まあ、ええか……それなりの青春してるんだから。

ずっと以前「ディズニ」のアニメ映画を見たことがある。要するに飼い主に対して忠誠心があるから、天国へ行くというような理論だったのだが、実際によく見ると犬の頭には「ピラミッド」のような形のオーラが出ている。対象的に、猫には、立つた耳の間に、虹の形のものが見える。（多分、リーダーみたいにアンテナを張っているのだろう。）武蔵も桃子も、一生懸命に生きています。「よしや、ほな、この夏は、思い切りピシビシ特訓したるで……」と期待はずむこの頃である。

□表紙のことば

## アテネ・オリンピック

野尻佳子

古代ギリシャの数々の遺産のひとつ、オリンピックゲーム。そこにも古代ギリシャ人の考え方を読みとることはできるだろう。彼らの肉体、知性、徳、多分それに適度の所産の全体にバランスのとれた人間を理想としたという。

だから、どの都市にもジムナジウムがあり、市民はそこで肉体と知性を鍛錬することが奨励された。ゲームの勝者はエクセレンスのモデルとして、オリイプの冠の特注の壺が褒美として与えられた。

四年に一度、ギリシャ全土から選ばれた競技者が集まってくるそのゲームが重視されたことは、その開催中はいっさいの国家間の戦争を止めようという協定があったことからわかる。

全世界の休戦！何と大胆で優雅で、質が高いコンセプトだろう！当時のゲームの様子は、発掘された賞品の壺絵から察すること出来る。当時のアーティストによつて描かれた若者たちの姿。長短距離走、レスリング、ボクシング、

ベンタスロン、チャリオットレースなどを競うのは、どれも映画「トロイ」のブラッド・ピッツをしのぐ体躯の持ち主で、大いに観衆の興奮をかきたてていない。ノー・ギアの真つ裸（人間本体の姿）で走る姿は、その素朴な純心さにいじらしくもかわいらしくも見えて来、思わず顔がほころんでしまふ。

さて、それから二千五百年、復活されたオリンピックが大きく姿を変え、今や大規模な世界産業になつてしまった。ハイテク・ギアの氾濫、ドラッグの使用、アマチュア精神の消滅、オフィシャルの買収、溢れるコマーシャルイズム、政治手段に利用される等々、失望するこ

とばかりが頭に浮かぶ。  
今年のゲームはいよいよ発生国、ギリシャ、アテネに戻つて来た。残念ながら十二億ドルという重装警備に包まれたオリンピックになりそうだが、せめてその間、古代人の智慧に見習い、流血のない世界であつて欲しいと祈る。突貫で準備を進めるアテネには「今年はずいぶん、今までと違う新気な精神をゲームに吹き込んでください！」と期待の大声をかけた。  
(かつてアテネに在住)

## 裏千家トント教室

### 新 宗楓

8 Dallington Drive

Willowdale, Ontario

M2A 2G3

(416) 493 - 6776

## JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール & クリステンセン美容室



美容一般、着付、エステ

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St. Unit 207, Toronto

(地下鉄 Bay 駅下車、Bellair 出口すぐ)

## オーラ

\*日本からのご購読お申し込みは、みずほ銀行麹町東支店、普通預金口座012-1710250『オーラ』へ年間購読料3千円を振り込み、お手数ですが、最後のページのお申込用紙に記入して下記住所へご郵送願います。

送り先=O'RORA

729-73 McCaul St. Toronto, Ontario

M5T 2X2 CANADA

格安でよい品物をお探しなら当店で!!



## 小沢カナダ

- ・ZOJIRUSHI, Panasonic Rice Cooker & Airpot
- ・Henckel ・家庭用品・電気製品 ・日本食品
- ・メープルゴールドコイン、メープル・シロップ

135 EAST BEAVER CREEK RD. UNIT 3. RICHMONDHILL, ON L4B 1E2

Eメール: ozawaine@instar.ca

TEL (416) 229-6343 (905) 731-5088 FAX (905) 731-0778

## 心と人と物の

## 豊かな人生

平原州で建設業に成功した  
九十歳の安部美丸さんのこと

私はカナダへ来て以来、多くの  
人々の勧めでこの国の移民の歴史に  
関する書物に目を通してきた。そ  
の多くは苛酷な自然との闘いの中  
で進められた開拓の記録とも言え  
るものである。勿論、日系人の移民  
に関しても何冊かの著作があり、  
中にはカナダから持ち帰った資料  
を日本で整理した立命館大学日  
系文化研究会の出版もある。

平原州の厳しい越冬生活の話は  
他の国の移民たちとほぼ共通して  
いるが、日系人には大戦によって生  
活の基盤を「そり奪われた」とい  
う激しい過去の現実がある。こうい  
うことは少なくとも、一世、二世の人  
たちの間ではつい昨日のことのよう  
に思い出されるものなのである。そ  
の労苦を共にしてきた人たちは、  
遠く離れた日本の親類、知人より

も、もつと身近に、深い絆で結ばれ  
ているようにも思われる。これは、  
トロントではあまり感じなかったこ  
との一つである。

こんな人たちの中心の一人とし  
て、これまで半世紀に亘って活躍し  
てきたのがウイニベグに住む安部  
美丸さんである。今年、九十歳に  
なるが、いまでも颯爽と車を飛ばし、  
多くの人との交わりを続けている。  
「もうこの年になって自分を宣伝す  
るつもりはありません……」と言いな  
がらも、さりげなく語る言葉の中  
には星霜を感じさせるものがある。  
安部さんがウイニベグに来たの  
は一九四七年。戦争で日系人が収  
容所生活を余儀なくされるまで  
は、バンクーバーで父の農園を手伝  
い、製材所などでも働いていた。生  
まれば大正三年三月二十四日、福



「志津三郎兼氏」  
の銘がある小刀

岡県築上郡椎田町の出身である。  
日本では小学校しか出なかつたが、  
今でも立派な文を執筆し、絵も描  
く。カナダへは両親より一足遅れ、  
一九二七年にやつて来た。

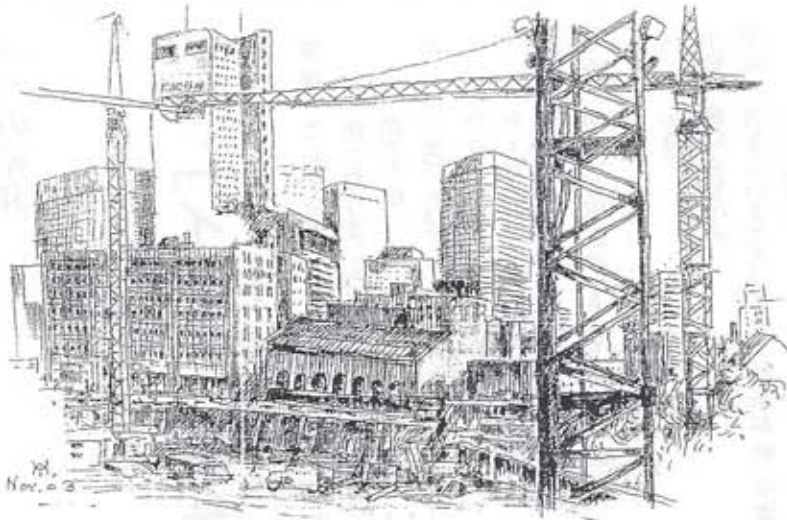
その頃バンクーバーのフレイザー  
・バレー一帯には五百家庭ほどの日  
本人が入植していた。苺の栽培で  
日本人の生活が軌道に乗り始めた  
頃、突如、太平洋戦争が勃発。安  
部さんはロッキー山脈の中の道路  
建設工事に駆り出された後、タシ

メの収容所に入り、ここで家族と再  
会した。

「何の娯楽施設もない収容所  
は、われわれが手作りの芝居をし  
て、人々の気持ちを慰めたものでし  
た。」同僚が芝居の台本を作っ  
て、安部さんがそれに沿った絵を描  
き、舞台装置などを作つて、自らも  
出演した。仲間の間で「そり短波  
で受信した日本軍の動きを記録し  
ては回し読みし、これも意外に受け  
た。」

収容所生活は四年。その後日系  
人は、ロッキー山脈以東へ移動する  
か、日本へ帰るか二つに一つを迫  
られた。安部さんの父親はその昔、  
東部のムースジョーで働き、辛酸を  
味わった経験があるので東部行き  
を断り、そのころ家、土地も既に整  
理して何もなかつた敗戦後の故郷へ  
帰つて行つた。「両親とは収容所で  
別れたのが、私にとつての最後でし  
た。日本へ帰つた両親からは色々欲  
しい物を言ってくるのですが、私も  
経済的に非常に苦しいときでし  
た。でも、業代だと思つてそれは送  
りましたね。」

その両親も一九六一年に他界し  
た。  
安部さんはその後、サスカチュワ  
ンに移り、零下二十度、三十度の  
生活を初めて味わつた。多くの日系



安部さんが描いたウィニベッグの  
ダウンタウン風景

人は砂糖大根の仕事に就いたが、安部さんは運良くウィニベッグに家を借りることができ、戦後の復興事業に加わることになった。「私は大工の仕事を知っていたわけではなかったのですが、白人の会社でビルを建てる人が要るからというので、そこで二、三年働いているうちに、やり方を覚えたわけです。」その後は友人たちのグループを作って独立した。本業の合間、収容所時代に身に

つけた技術を生かして機関誌を発行し、マニトバ地方の日系人の消息の交流に努めた。それはある意味で日系人の心の支えとなるものだった。「初めの頃はガリ版刷りでした。インクで真っ黒になりながらプリントしたのですが、ワープロが出来てからは非常に楽になりました。」編集、印刷の仕事場は知人の間を転々とした。この仕事を共にした人たちは、今はもう亡くなっている。その文芸欄に載った短歌の一つにこんなものがある。

「子に残す 物などはなき  
わがいのち  
夕げあたたかくして  
帰りをまてり」

(バーノン さと)

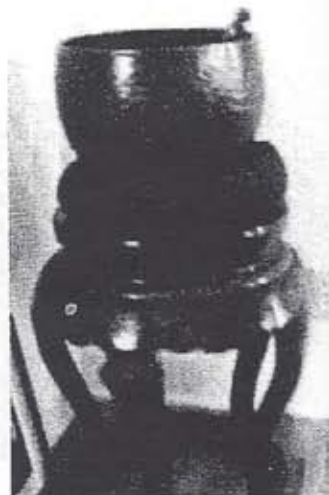
建築の仕事はウィニベッグばかりでなく、オンタリオ州のレイク・オプ・ザ・ウッズの湖上にある島々に家を建てる話も引き受けた。「まだトランス・カナダ・ハイウェイのなかつた頃なので、車で曲がりくねった細い道を走り、ケノーラまで三時間半もかかったものです。」

月曜の朝早く家を出て、そのあと現地のホテルで過ごし、金曜の夜に帰ってくる。こんな生活を三十年も続けた。ウィニベッグでは、日本総領事の公邸も手がけた。また、一九七〇年のウィニベッグ市百年祭で

は、日本会館の茶室や日本庭園の設計、建設などの奉仕活動もした。

日本人の心を仕事の中に生かすことを忘れない安部さんは、寒冷地になんとか日本風の庭園を造れないものかと考えた。広葉樹はこの土地には育たないので、考えたのが石庭のような庭の造園であった。しかし、粘土層の多いマニトバ地方にその材料はまるでない。そこで数百キロ離れたオンタリオ州で、暇を見ればコツコツと探し回り、これはと思ふ岩を見つけたときには土地の人の了解を得て、一つ一つウィニベッグに運んできた。その仕事ぶりは非常に几帳面で、徹底しており、多くの人たちの人気と信頼を集めてきた。推されて、マニトバ日系市民協会の役員を務めたこともある。こうした功績に対し、八五年には勲六等単光旭日賞を受けている。「仕事を通じて、とても金儲けといったことは出来なかつたけれど、多くの良き知人に恵まれたことは幸いでした。」

安部さんの自宅の一室には、建設現場で取り壊した古い小屋の中から出てきた日本のお寺の鐘を、その小屋の所有者から貰い受け、大切に飾つてある。鐘には「明安山定行寺什物 正保二年乙酉吉日」と刻まれている。これは宮本武蔵が



「明安山定行寺什物」と刻まれた古鐘

他界した翌月に当たるといふ。また、地下室の壁には、これまで集めてきた浮世絵と日本刀が飾られている。安部さんが抜いて見せてくれた小刀の一つには「志津三郎兼氏」の銘が刻まれている。切っ先から柄端まで約五十センチ、飾り物として金色の亀に波のデザインが施されている。六百年以上前の作品で、司馬遼太郎の著作「翔ぶが如く」によると西郷隆盛も同じ作者の刀を愛用していたという。

安部さんの集めた日本刀は約二十本に上るが、その一つ一つについて詳細な履歴を調べ上げた記録が一冊のノートになっている。刀に魅せられた一番の理由は何と云っても、刀工たちの入魂の技がそこに光っているからに他ならない。

「何しろ、千年以上も昔から伝わっているものだから、金工の芸術としては世界に冠たるものだと思えますね。私が死んだら、バンクーバーにあるナショナル・ミュージアム・リテイジ・センターへ寄贈するつもりです。」 (ウィニベッグ在住)

酒井啓子著

## 「イラク 戦争と占領」

平塚 こんにちは。トロントも新緑の季、平塚

節になりましたが、そちらはいかがですか。

小野 いまトロントにきています。この小野

へんは長い冬のあとの新緑で、バンクーバーとちがった美しさがあります。

平塚 あら、こ出張中ですか。携帯電話

は高くつくから、長話はできませんね。

小野 構いませんよ。

平塚 去年のいまごろ、イラク戦争が終

わつたのでオローラを早めに出し、小野

たいと言ったら、小野さんが日本の敗戦と違って抵抗が続くような

小野 平塚 気がするとおっしゃったことがありません。そのとおりになりましたね。

長引くだろうというのは少数派でしたね。

楽勝だったと喜んでいるアメリカ人がいたので、イラク人はまだ本気で戦っていないよ、と云ったところきよんとしてしまいました。プッシュの勝利宣言をうのみにするひとが多かった。

平塚

イラク戦争開始について、オニールが批判した箇所があるそうですね。

小野

オニールも、プッシュのテロ対策チームのメンバーでしたが、アルカイダ、オサマビンラディンがテロ対策の課題なのに、プッシュ、チェイニー、ラムズフェルドたちがイラク戦争へ方向を変えていくのはおかしいのではないかと疑問を持った様子が書いてあります。

オニールが言わなくても辻褄の合わない強引な戦争だというのは多くの人が批判していたことですが。

平塚

そうですね。パウエルがイラク戦争に反対であったことも書いてありますが、それも知られていたことです。

小野

オニールはニクソン、フォード、ババ・プッシュと比較してプッシュの能力が低いことも指摘しています

が、これだってオニールが言わなくても分かっていたことです。

ネット世界の常識に追いつくために書かれた本というところですか

平塚

ほかに？

ジョー・コナン著「ビッグ・ライズ」。

大きな嘘というそのものずばりの題の本が、並んでいるのは壮観です。

アメリカの右翼たちが仕掛けてきた大きな嘘、謀略について書いてあり、プッシュの話も出てきま

平塚

す。内幕ものではなく、事実を集め分析した本です。ニューヨーク、タイムスのコラムニストがよく調べてあると評価しています。

平塚 チョムスキーの感じですか。

小野 チョムスキーのほうが読みやすいですね。

平塚 ニクソンのカウンスルだったジョン・

テイラー著「ワース・ザン・ウオーターゲート」はプッシュがアメリカにとつてとても危険な大統領であると書いています。

平塚 そう思いますか。

小野 そう思います。

平塚 プッシュたち、あるいはネオコンとよばれるグループ、キリスト原理主義者たちはかつて猛威を振るうたマッカーシーにも似た、あるいはそれ以上に異常な精神構造の持ち主でしょう。

平塚 異常ですか。

小野 自分たちが絶対的な善であり、それに味方しないのは絶対的悪であると云ってはばからない。狭い世界で思考停止している幼児のようなものです。かれらが仲間うちと妄想にふけっているぶんにはいいけれど、アメリカ政府を牛耳るのは危険です。

平塚 それでもプッシュ批判の本がアメリカに出回ってきたのだから底流は好転した、希望の光は見えるということですか。



小野 そういうことです。日本に比べる  
とだんぜん少ないけれど。

先月、日本に行つたのですが、どこ

の本屋でもイラク関係の本がたく

さんあります。情報の量では日本

人のほうがアメリカ人より恵まれ

ているかも知れません。

平塚 一冊だけ紹介してください。

小野 一冊だけなら酒井啓子。

平塚 アジア経済研究所の酒井啓子さ

んですね。「イラクとアメリカ」を

読みました。イラクを理解するの

にとても良い本ですね。サダムフ

セインは邪悪である、ピリオッド

という単純なことではないのだと

分かりました。

小野 それの続編とでもいうか、「イラク

戦争と占領」という本が今年初め

に出版されました。

平塚 酒井さんはテレビにもときどき出

ますね。わかりやすい解説で好き

です。

小野 新聞やテレビの政治記者などと

違つてはつたりが全くない、中身の

ある解説ですね。

平塚 政治記者がはつたりばかりだとお

思いませんが。本の内容を教えてください。

小野 昨年の夏、十三年ぶりにイラクを

訪問したあとに書いた本で、書き

終わつたのが去年の暮れ。

平塚 いま、アブ・グレイブ収容所でのア

メリカ人によるイラク人虐待が報

道され、フセインとブッシュは違わ  
ないではないかと言われています  
よね。

ひどい虐待ですもの。

この戦争の本質をあらわす象徴

的な出来事です。おかげでブッシ

ユに疑問を抱くアメリカ人が増え

ていることは良いことです。

平塚 酒井さんは現地に行つて、「フセイ

ンもアメリカも国民不在の、力任

せの弾圧」と感じていたイラク人

の気持ちに注目しています。

一瞥して即この本質を捉えるの

は感覚が鋭いこと、これまでに培つ

た洞察力があるからでしょう。

著者は二度の戦争や十余年にわ

たる経済制裁でイラクがすっかり

破壊されているのではないかと思

いながらイラクに入るのですが、ヨ

ルダンより立派な道路が残ってい

ることにびっくりします。

破壊されているけれどイラクの社

会にはしっかりとしたネットワーク

が残っていることにも注目してい

ます。

小野 インフラがめちゃめちゃになつてい

る、だから復興事業があるという

ことになつていますが。

平塚 それはそのとおりで、生活インフ

ラの破壊状況について詳しく書か

れています。

平塚 そういふものも含めてイラクの現

状をどのようにとらえているので

しょうか。

小野 フセイン政権時代、イラク人はお

互いに敵か味方か疑心暗鬼のな

かで生きるのが日常であった。その

不条理な日常を米軍が解放しに

来たはずなのに、逆に米軍が呑み

込まれようとしている。

平塚 どういうことですか。

小野 米軍はイラクにいる他者がすべて

敵に見えるようになり、民間人を

殺している。他者を殲滅しないと

袋小路から逃れられなくなってい

る。

平塚 イラク人全体を敵に見立ててしま

つたら、フセインなどくらべもの

にならないほど悲惨なことになり

ますね。

小野 理不尽な理由で祖国が危機に脅

かされているとき、イラク人はフセ

イン政権を支えないとしても、自

らの生活を守るために戦わざるを

得ない。ナシヨナリスムの萌芽がは

つきりしてきた、とみています。

平塚 フセインがいなくなつてかえつて反

米の力が増したのでしょうか。

小野 フセインにとっては最後の戦争だつ

たが、フセインを倒してもブッシュ

は汚い長い戦争を勝ちきれない。

平塚 汚いとはどういう意味ですか。

小野 クラスタ爆弾や劣化ウラン弾を

使い、かつ民間人を殺している。

平塚 日本の占領は成功したのにイラク

日本人は御しやすい民族なのでし

ょうか。

小野 著者はアメリカが復興行政に携

わる実務能力もないのに、権限ば

かりを独占していることに失敗の

原因があるとしています。

平塚 そうなのでしょうか。

小野 その辺は著者にも疑問があるらし

く、「あたかも失敗すること自体

が目的だったかのよう」とか「占領

政策の目的はイラク社会の安定

にあるとは思えない」とも書いてい

ます。

平塚 日本のかかわり方について書かれ

ていますか。

小野 日本とイラクのかかわり方は民間

企業の技術力による友好的なも

のであつたので、イラク人の日本人

に対する期待は高かつたのだそう

です。今回、軍隊を派遣したもの

だから、日本が占領軍の一端を

担うという認識が高まるのではな

いかと心配しています。

平塚 今後どうなると見ているのでし

ょうか。

小野 シーア派もスンナ派もなく、イラ

クは連帯を強める、国家の解体で

はなく国家建設の入り口に立つて

いる、というのが結論です。

しかし、著者にはこの本で書かな

かつた何かがあるのではないかな

あ。本を読んでそういうところを

# 編集室から



■わが家は以前と比べるとずいぶん賑やかにになりました。いろんな人が入れ替わりやってくる。母の世話や家の補修や犬の散歩をやってくれます。家の中も見違えるようにキレイです。子犬の時から肥満気味で、歩くのも走るのも苦手の桃子でしたが、最近では走れるようになりました。ホント嬉しいです。学校の休みには、日本から姪たちがやってくる。子どもたちの賑やかな声が家中に飛び交います。家に活気が出て、私たちの家も喜んでいてほしいです。

■忙しいために人間関係がおそろそかになり、毎日内心忸怩としております。すぐ電話をすること、すぐ手紙の返事を書くこと、すぐEメールの返事を出すこと、目の前のことに追われて、それがなかなか出来ないのです。電話はすぐ出来ませんが、電話以外のことが溜まりがちです。言い訳をしてはいけない、昔、どこかの区役所にあったスグヤル課にならなくては、と自分に言い聞かせております。まずとりあえず、歯医者のアポイントを作って、日本に返事を出して、十五日までに税金を支払って、

老子の言葉を実感しているのです。  
(順子)



JAPANESE FOODS & GIFT SHOP  
**SANKO**  
730 QUEEN ST. W. TORONTO  
TEL (416) 703-4550 / FAX (416) 703-8593  
<http://www.toronto-sanko.com>

インターネットであれとこれを調べて、そのこととあそこにEメールを出してと、やるのが山積していて、そのうちにグジャグジャになってしまっています。

■一九九七年までトロントにPAC代表として駐在したホンダの小尾さんが帰国されてから服飾に関する美術評論を始められました。今回、その話を執筆いただきました。聞けば、初代スズキカナダ社長だった西さんも、引退されてから絵を始められ、個展を開催して活躍、街道筋で有名な画家になられたそうです。

■今、エルネスト・チェンゲバラの「モーターサイクル日記」を読んでいます。最近映画になって話題になった本です。二十三歳の医学生の時、友人の兄のライボ病専門医、アルベルト・グラナードと二人で、ノーマンのオンボロ・オートバイに乗って南米を走り回る話で、Das Kapital, Engels, Feuerzettel, などとザ・タイムズは評していますが、楽しい本です。まだカストロに出会う前のごく若い時のことで、彼は本来、詩人で、革命家になるより、作家になったほうがよかったのでは、と思います。もしかしたらポルヘスやマルケスのようになったかも知れません。  
(K・H)

## オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料16ドル(カナダ国内送料GST込み) 米国16米ドル  
小切手を添えて郵送でお申し込み下さい。

ネーム \_\_\_\_\_  
アドレス \_\_\_\_\_  
郵便番号 \_\_\_\_\_

オーロラ

(代表・平塚かずよ)



# SHISEIDO

## BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー  
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メーキャップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405  
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

## ショーフレックスのお客様はすべて

# V.I.P.

大・小バス / ミニバン / ストレッチリムジン  
セダンなど... すべて日本語のガイドまたは  
ドライバーがご案内いたします。



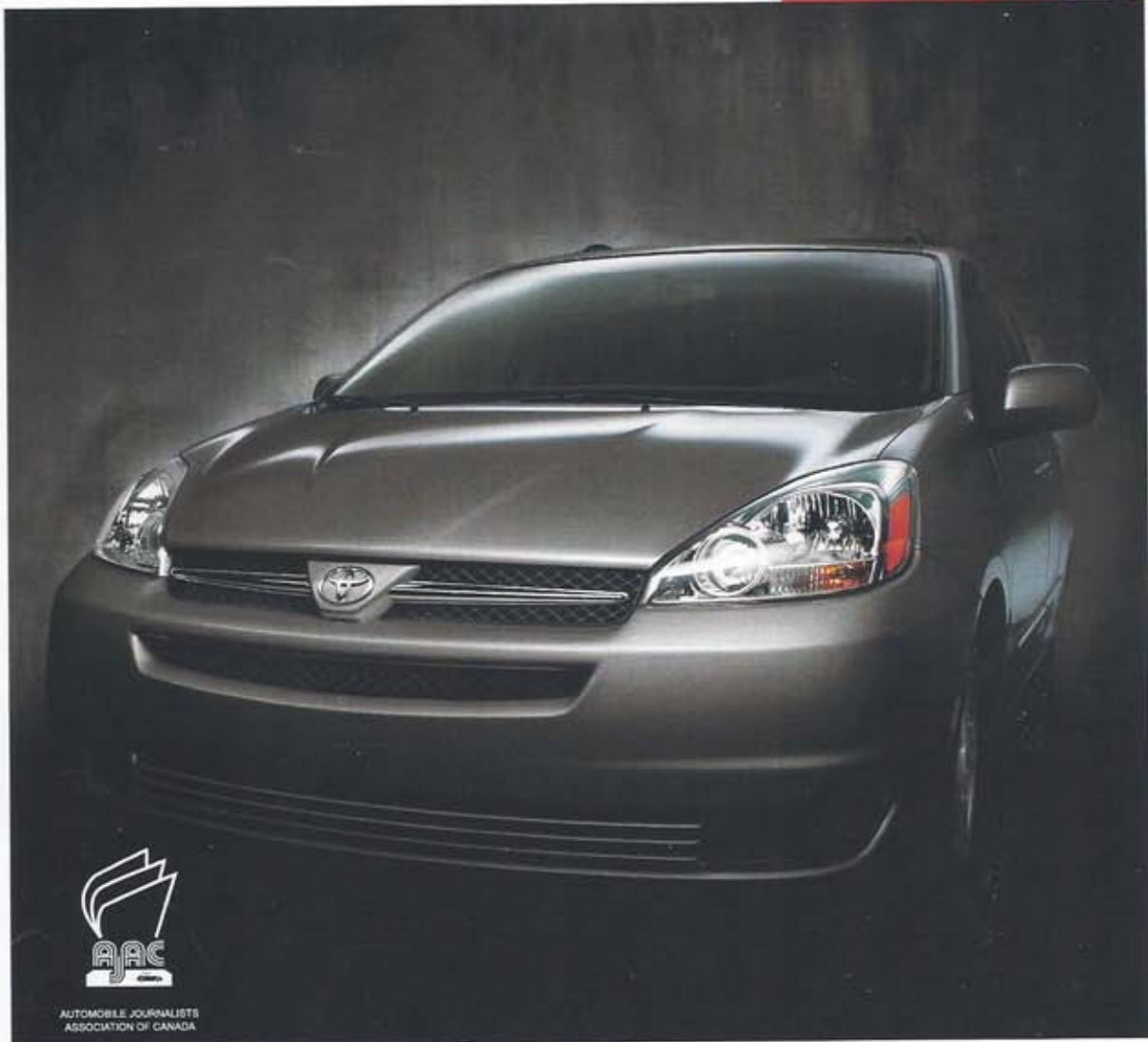
- 空港ご送迎・ナイアガラ観光は快適なリムジンで。
- テクニカルビジット・通訳 その他もアレンジいたします。

### Show Flex International Inc.

315 Adelaide St. W., Toronto ON M5V 1P8

Tel:(416)977-6849 Fax:(416)977- 7250

WITH AVAILABLE LEATHER, IT WON'T LOOK LIKE  
A MINIVAN FROM THE INSIDE EITHER.



2004 SIENNA

AJAC car of the year award for Best New Minivan

Just when you thought the Sienna couldn't be any less like a minivan, along comes the Sienna LE FWD Package. It includes leather seating all around, sunshades in the back and heated seats in the front. Now, style and comfort come together. Driven by no less than a 230hp V6. Yes, it's a minivan. It just doesn't act like one. See your Toyota Dealer for details or call 1-800-TOYOTA-8.